

2025 年度
学生生活アンケート 報告書
(清泉大学)
(清泉大学大学院)

学生生活委員会

目次

1. 調査概要	5
(1) 調査目的	
(2) 調査期間	
(3) 調査対象者と回答率	
2. アンケートの集計 (全体)	6
(1) 本学での学び・学生生活について問う項目	
①本学での学びにあたっての質問項目	6
設問1【ディプロマ・ポリシーの認知】【入学満足度】【進路計画】	
②学生生活に対する考えを問う項目	7
設問2【教育満足度】【将来の進路イメージ】【健康・成長意欲】	
設問3【専任教員との関係】【友人関係】【学内での居場所】	
【共学化後の学生生活】	
③時間の使い方に関する項目	10
設問4 1週間当たりの時間の使い方 (学内活動・学外活動・交友など)	
④悩みや悩んだ時の相談先に関する項目	11
設問5 現在の悩み事	
設問6 悩みや問題にぶつかった時、主に相談する先	
(2) 相談窓口・施設設備関連について問う項目	
①学内の相談窓口の認知に関する項目	12
設問7 学内の相談窓口の認知度	
②施設設備の利用に関する項目	13
設問8 授業時間外の施設設備の利用	
③施設設備の満足度に関する項目	13
設問9 施設設備の満足度	
(3) 教育体制や制度・各部署の対応について問う項目	
①教育体制や制度への満足度に関する項目	14
設問10 教育体制や制度に対する満足度	

②各部署の対応の適切さに関する項目	14
設問 11 各部署の対応の適切さ	
(4) 本アンケート回答者の属性について問う項目	
設問 12 回答者の性別分布	15
設問 13 本学に入学したときの入試方法	15
設問 14 本学に入学したときの志望順位	16
3. アンケートの集計 (学科)	17
(1) 心理コミュニケーション学科	17
設問 1 回答者の所属コース	
設問 2 所属コースのよさ・魅力・おすすめポイントについて	
設問 3 自由意見	
(2) 文化学科	19
設問 1 学科のカリキュラムの中で、もっと充実させたいと感じる分野	
設問 2 文化学科のよさ・魅力・おすすめポイントについて	
設問 3 自由意見	
(3) 情報コミュニケーション学科	21
設問 1 学科のカリキュラム構成の満足度について	
設問 2 清泉チャレンジ制度について	
設問 3 情報スキルを効果的に活用し、自分の意見を説明する力	
設問 4 社会課題の解決に貢献していきたい意欲	
設問 5 協調性やコミュニケーション能力	
設問 6 自由意見	
(4) 文化芸術学科	22
設問 1 学科のカリキュラムの中で、もっと充実させたいと感じる分野	
設問 2 文化芸術学科のよさ・魅力・おすすめポイントについて	
設問 3 自由意見	
(5) 看護学部 (看護学科・専攻科・研究科)	25
設問 1 地域に関わる活動	
設問 2 卒業後の進路のための準備について	
設問 3 卒業後の進路のための準備の内容	
設問 4 自由意見	

4. アンケートの統計的分析	27
(1) 入学満足度に影響を与えている要因の検討	27
分析1 重回帰分析	
分析2 クロス表	
(2) 教育満足度に影響を与えている要因の検討	28
分析1 重回帰分析	
分析2 クロス表	

<付録 各設問の学科別集計>

1. 調査概要

(1) 調査目的

学生の本学における学校生活の実態と学校生活満足度を把握し、統計的な処理をへて、教育の質向上や教育環境の改善に役立てることを本調査の目的とする。

(2) 調査期間

2025年12月8日(月)～2026年1月12日(月)

(3) 調査対象者と回答率

2025年度から新設された学科（情報コミュニケーション学科、文化芸術学科）は1年生と3年生のみの在籍である。2025年度は募集停止となった学科（国際コミュニケーション学科、文化学科）は2年生以上のみの在籍である。2025年度から大学・短大が共学化されたため、心理コミュニケーション学科・情報コミュニケーション学科・文化芸術学科・こども学科の1年生は共学、2年生以上は女子学生のみの在籍である。また看護学科、大学院は開設から全て共学である(助産学専攻科は除く)。調査対象者と回答率は以下の通りである。

	対象者学科・学年	回答率	前年差	回答者／在籍数
短期大学部	こども学科1年	69.2%	▼ -22.1	45／65
	幼児教育科2年	49.3%	▼ -24.3	34／69
	国際コミュニケーション科2年	45.7%	▼ -21.0	16／35
大学	心理コミュニケーション学科1年	61.9%	▼ -8.3	60／97
	心理コミュニケーション学科2年	52.2%	▲ +9.0	24／46
	心理コミュニケーション学科3年	57.3%	▼ -8.8	43／75
	心理コミュニケーション学科4年	37.5%	▼ -15.2	24／64
	文化学科2年	44.0%	▼ -6.0	11／25
	文化学科3年	44.0%	▼ -7.5	14／30
	文化学科4年	42.4%	▼ -21.6	14／33
	情報コミュニケーション学科1年	100.0%	—	30／30
	情報コミュニケーション学科3年	80.0%	—	8／10
	文化芸術学科1年	66.7%	—	26／39
	文化芸術学科3年	50.0%	—	1／2
	看護学科1年	60.3%	▼ -25.7	44／73
	看護学科2年	48.2%	0.8	27／56
	看護学科3年	31.6%	▼ -14.5	24／76
	看護学科4年	60.2%	▲ +14.7	50／83
	大学院看護学専攻／助産学専攻科	65.0%	▼ -3.4	13／20
	短期大学部全体	56.2%	▼ -22.6	95／169
大学・大学院全体	54.9%	-0.9	413／759	
組織全体	54.7%	▼ -6.8	508／928	

2. アンケートの集計（全体）

学生生活アンケートで調査を行った設問1から設問14について、それぞれの設問の内容と回答の集計の概要を報告する。

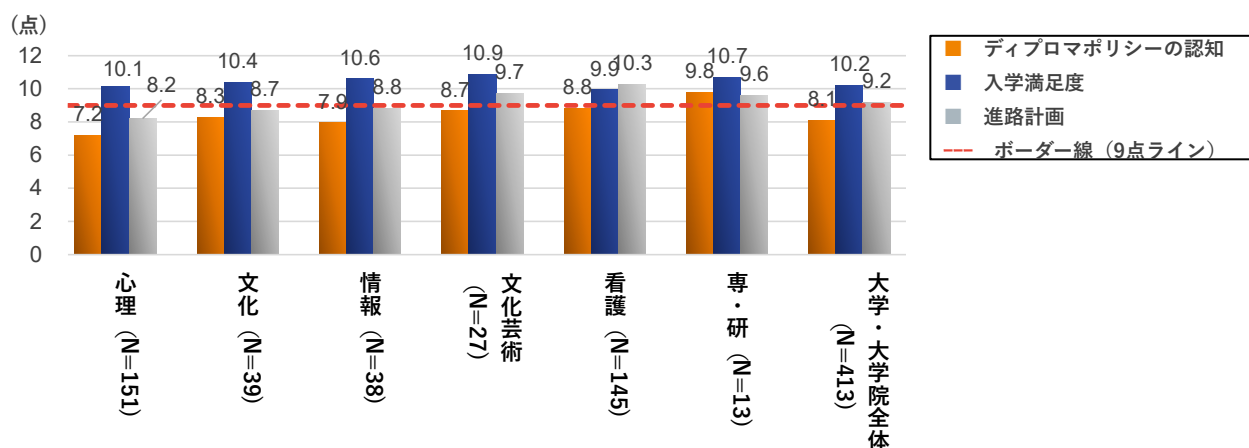
（1）本学での学び・学生生活について問う項目

①本学での学びにあたっての質問項目

（Q1）ディプロマ・ポリシーの認知・入学満足度・進路計画

設問1では、本学での学びに当たって、【ディプロマ・ポリシーの認知度】【入学満足度】【進路計画】を把握するため、以下の表にある9項目の質問を行った。因子分析を行い、因子の信頼性を確認した。回答は4件法（あてはまる～あてはまらない）で設問順をランダム化して調査した。結果を学科毎に集計し、グラフに示した。

① ディプロマ・ポリシーの認知 ($\alpha=.77$)
<ul style="list-style-type: none"> ・所属学部の卒業時に身につく力を説明できる ・所属学部のディプロマ・ポリシーを知っている ・所属学部が養成しようとしている人材像を知っている
② 入学満足度 ($\alpha=.77$)
<ul style="list-style-type: none"> ・入学した学部・学科が自分に合っている ・清泉に入学してよかったと感じる ・所属学科には学びたい科目がある
③ 進路計画 ($\alpha=.73$)
<ul style="list-style-type: none"> ・入学に際して、自分の進路を想定して本学を選んだ ・在学期間中、学内で取得できる資格を熟知している ・将来の就職先のことを考えて、本学を選んだ



各因子の得点について、9点（それぞれの項目で「3点：やや当てはまる」を上回る得点）を目安として確認した結果、【ディプロマ・ポリシーの認知】については、専攻科・研究科（9.8）を除く全ての学科が9点を下回っていた。学生への周知の機会を増やす等の取り組みにより、学生の認知をさらに高めていくことが課題である。

【入学満足度】については、全ての学科が9点を上回った。本学に入学した学生は概ね、清泉大学が自分に合っており、入学したことを満足と捉えていることが推定される。

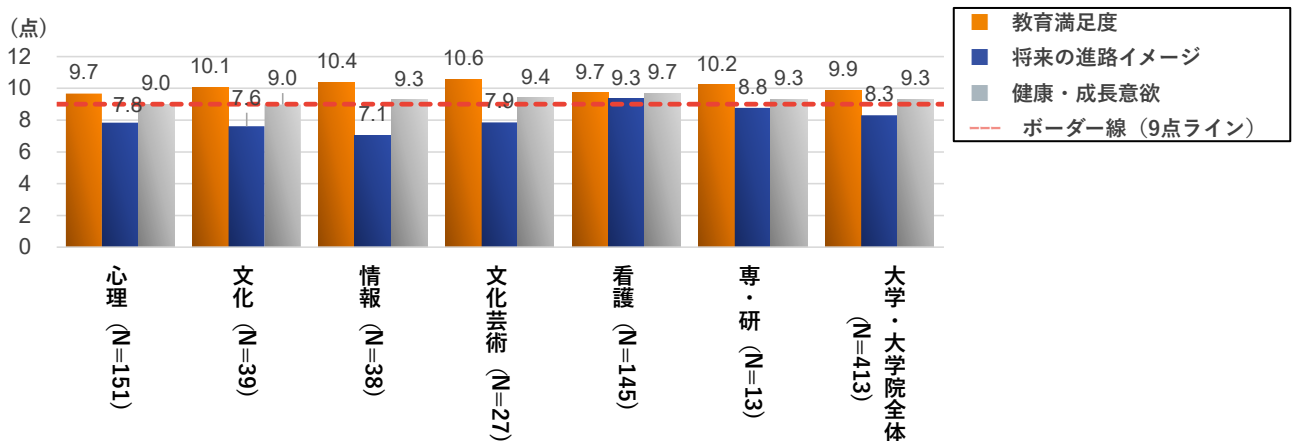
【進路計画】については、文化芸術学科（9.7）、看護学科（10.3）、専攻科・研究科（9.6）が9点を上回った。これらの学科の学生は、本学に入学する時点で卒業後の進路計画を明確に持っている学生が多いと想定される。その他の学科の学生は、入学後に進路を決定する傾向が高いと考えられることから、在学中に取得できる資格の周知や、進路支援に向けたガイダンス等の取り組みを通じて、学生の進路意識向上に向けた取り組みが求められる。

② 学生生活に対する考えを問う項目

(Q2) 教育満足度・将来のキャリアイメージ・健康・成長意欲

設問2では、学生生活を送る上で、【教育満足度】【将来の進路イメージ】【健康・成長意欲】を把握するため、11項目の質問を行った。因子分析を行い、因子負荷量の高い順に3項目を選び、2項目を削除して以下の表にある9項目を集計に使用した。回答は4件法（あてはまる～あてはまらない）で設問順をランダム化して調査した。結果を学科毎に集計し、グラフに示した。

① 教育満足度 ($\alpha=.81$)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来に向けて必要な学びが用意されていると思う ・ 全体として本学の教育内容や教育方法に満足している ・ 授業の内容や学びを通して、視野が広がった
② 将来の進路イメージ ($\alpha=.63$)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望の進路を目指して自分なりに努力している ・ 卒業後の自分の進路や就職イメージがより鮮明になった ・ 将来、何がやりたいのかまだはっきりしていない（逆）
③ 健康・成長意欲 ($\alpha=.67$)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は自分に満足している ・ この1年の成長を実感している ・ 自分は授業に積極的に参加している



各因子の得点について、9点（それぞれの項目で「3点：やや当てはまる」を上回る得点）を目安として確認した結果、【教育満足度】については、全ての学科が9点を上回った。それぞれの学科において、学生のニーズや関心に合った学びが準備されており、学生は概ね教育に満足していると考えられる。

【将来の進路イメージ】については、看護学科（9.3）のみ9点を上回った。看護学科では、学びを通じてより将来像がイメージされやすいカリキュラム構成になっていることが想定される。その他の学科では、カリキュラム構成と将来像が必ずしも明確に結びついていないのではない分、得点が低くなっていると推定される。

【健康・成長意欲】については、全ての学科で9点を上回った。学生は、学校生活の中で自らの心理的健康や成長、主体性を意識できる機会を概ね得られていると考えられる。

(Q3) 専任教員との関係・友人関係・学内での居場所・共学化後の学生生活

設問3では、学生生活を送る上で、【専任教員との関係】【友人関係】【学内での居場所】【共学化後の学生生活】について把握するため、15項目の質問を行った。因子分析を行い、因子負荷量の高い順に3項目を選び、3項目を削除して以下の表にある12項目を集計に使用した。回答は4件法（あてはまる～あてはまらない）で設問順をランダム化して調査した。結果を学科毎に集計し、グラフに示した。

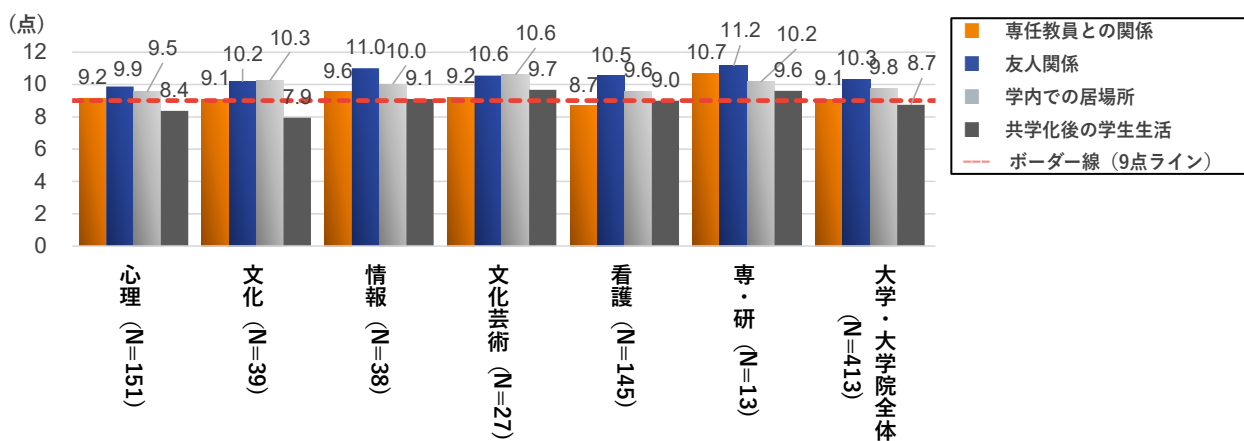
① 専任教員との関係 ($\alpha=.87$)
<ul style="list-style-type: none"> ・困ったときに相談できる先生がいる ・努力したことを認めてくれる教員がいる ・専任教員と話をしたり関わったりする時間がある
② 友人関係 ($\alpha=.70$)
<ul style="list-style-type: none"> ・学内には気軽に話せる友人がいる ・協力してくれるような友人がいる ・学内に自分の本音を話せる友達がいる

③ 学内での居場所 ($\alpha=.76$)

- ・大学の中に自分の居場所がある
- ・大学・短大の雰囲気が気に入っている
- ・学内に一人で過ごせる場所がある

④ 共学化後の学生生活 ($\alpha=.82$)

- ・性別にかかわらず、他の学生と交流しやすい雰囲気がある
- ・同じグループに異性がいても違和感なくコミュニケーションが取れる
- ・異性、同性を問わず、自分を素直に表現できる



各因子の得点について、9点（それぞれの項目で「3点：やや当てはまる」を上回る得点）を目安として確認した結果、【専任教員との関係】については、看護学科（8.7）を除く全ての学科で9点を上回っていた。本学の少人数での指導体制や教職員との距離感等により、満足度が高くなっていることが示唆される。

【友人関係】についても、全ての学科で9点を上回っていた。忙しい学生生活を送る上で、良好な友人関係が支えになっていることが窺える。

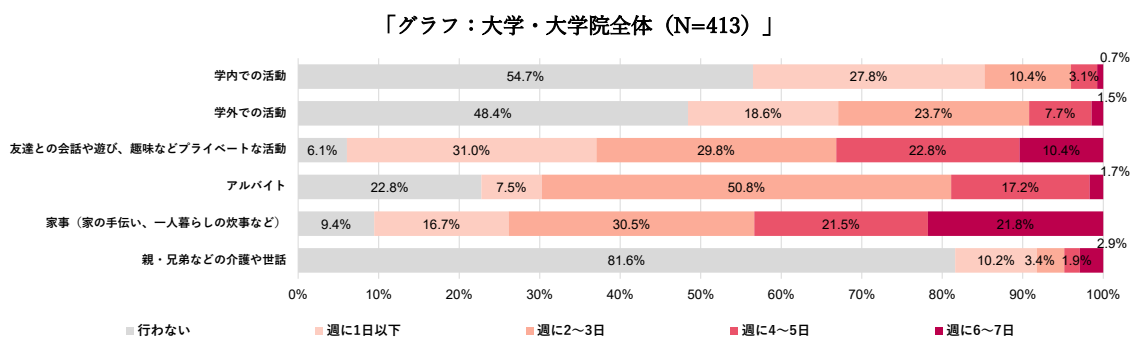
【学内での居場所】についても、全ての学科で9点を上回っていた。大学が自分の居場所だと感じられることで、大学にいる時間が長くなり、学校不適應の予防も期待されるため、様々な学科活動やイベント企画、サークル活動の充実、1人で安心して過ごせる場所作りなど、今後も様々な取り組みが求められる。

【共学化後の学生生活】については、看護学科（9.0）を含む4学科が9点を上回っていたが、心理コミュニケーション学科（8.4）、文化学科（7.9）では9点を下回った。心理コミュニケーション学科と文化学科は、1年生が共学であるが、2年生以上は女子学生のみであるため、2年生以上で共学に関する回答が低いことが全体に影響を及ぼしていると考えられる。全体としては、学生は概ね共学化後の学生生活で互いにコミュニケーションを取っていることが推察されるが、今後も学生の様子に注意を払う必要がある。

③時間の使い方に関する項目

(Q4) 1週間当たりの時間の使い方（学内活動・学外活動・交友など）

設問 4 では、学生の 1 週間当たりの時間の使い方を把握するため、【学内での活動】【学外での活動】【友達との会話や遊び、趣味などプライベートな活動】【アルバイト】【家事（家の手伝い、一人暮らしの炊事など）】【親・兄弟などの介護や世話】をそれぞれどれくらい行っているのかを尋ねた。なお、【学内での活動】とは「学生会、クラブ・サークル活動、学科ピア活動、清泉祭など委員会活動、その他学校から依頼された活動など」、【学外での活動】とは「アルバイト、授業外のインターン、ボランティア活動など」であると教示した上で、回答を求めた。設問順をランダムマイズして調査し、結果を大学・大学院全体で集計し、回答の内訳をグラフに示した。



【学内での活動】については、「行わない」と答えた学生が5割を超え、【学外での活動】も「行わない」と答えた学生が5割近くおり、あまり活発ではない状況が明らかになった。活動を活発に行う一部の学生が、様々な活動に参加し、役割を重複して担っている状況も指摘されていることから、より多くの人々が緩やかに学内外の活動に参加できるような体制を工夫していく必要があると考えられる。

一方、【友達との会話や遊び、趣味などプライベートな活動】は、9割以上の学生が何らかの活動を行っており、大学生にとって重要な時間であることが窺える。また、【アルバイト】を行っている学生は8割程度おり、週4日以上アルバイトを行っている学生も2割程度いた。

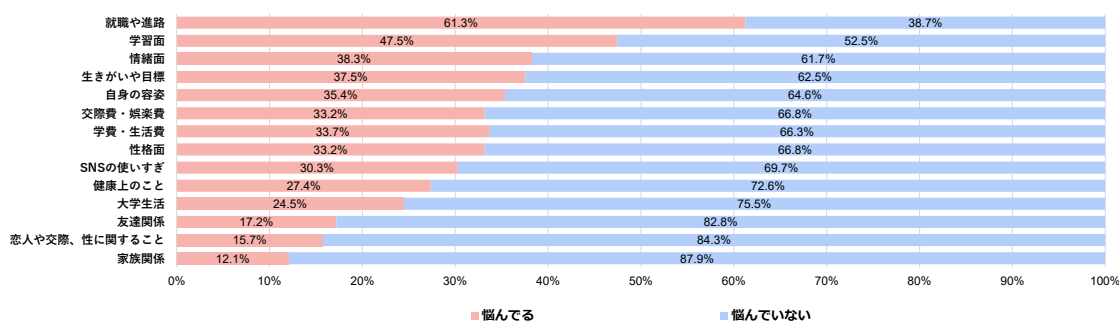
【家事（家の手伝い、一人暮らしの炊事など）】を行っている学生は9割以上にのぼり、頼もしい状況である一方で、全く行わない学生も1割程度みられた。大学生にとって、社会人に向けた生活の自立準備を整えていくのは必要な事であり、意識を高める機会を設けていくことが求められる。また、逆に【親・兄弟などの介護や世話】を週4日以上担っている学生も5%弱みられたことから、学業や大学生活に支障が出ないように、学生の状況に注意を払っていくことが必要である。

④悩みや悩んだ時の相談先に関する項目

(Q5) 現在の悩み事

設問5では、現在の悩み事で当てはまるものを尋ねた。悩み事の種類としては、【学習面】【友達関係】【大学生活】【就職や進路】【家族関係】【健康上的こと】【情緒面】【自身の容姿】【性格面】【恋人や交際、性に関すること】【交際費・娯楽費】【学費・生活費】【SNSの使いすぎ】【生きがいや目標】の14項目を設け、(悩んでいる・悩んでいない)の2件法で尋ねた。設問順をランダム化して調査し、結果を大学・大学院全体で集計し、パーセンテージの多い方からグラフで示した。

「グラフ：大学・大学院全体 (N=413)」



悩んでいるという回答が最も多かったのは【就職や進路】であり、全体で6割を超えていた。次いで、【学習面】の悩みが多く、半数近くの47.5%が悩んでいると回答した。今後も一層の手厚い就職支援や学習支援が求められる。

その次には【情緒面】【生きがいや目標】【自身の容姿】の悩みが続き、いずれも全体の1/3以上の学生が悩んでいると回答した。大学生は心理的に悩みを抱えやすく、メンタルヘルスの問題が生じやすい発達段階にあることから、これらの悩みを抱えている学生が多く存在することに注意を払う必要がある。悩みを相談しやすい体制づくりや学生への呼びかけ等を行っていくことが重要である。

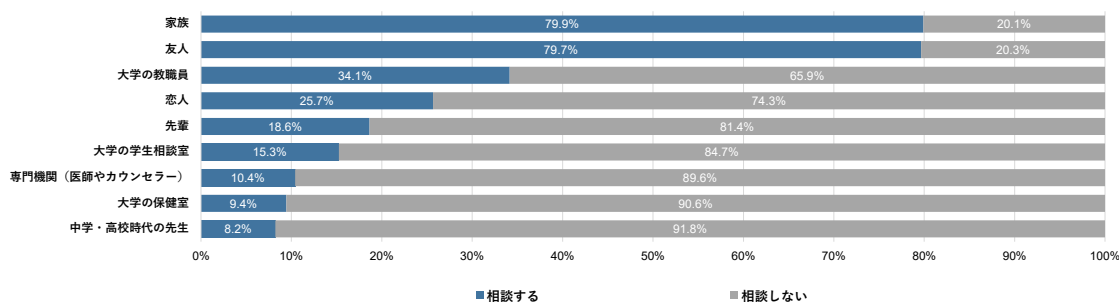
金銭的な悩みである【交際費・娯楽費】【学費・生活費】も、全体の1/3程度の学生が悩んでいると回答した。特に学費や生活費の悩みは、長時間のアルバイトなど学業にも影響があると考えられるため、適切な制度の利用や相談窓口の周知などに努める必要がある。

家族関係や恋人、友人関係など対人関係の悩みは12%~17%であったが、これらの悩みは周囲に相談しにくい悩みでもあるため、悩みを相談しやすい体制づくりや学生への呼びかけを行っていくことが重要である。

(Q6) 悩みや問題にぶつかった時、主に相談する先

設問6では、悩みや問題にぶつかった時、主に相談する先について尋ねた。相談先としては、【家族】【友人】【恋人】【先輩】【中学・高校時代の先生】【大学の教職員】【大学の保健室】【大学の学生相談室】【専門機関(医師やカウンセラー)】の9項目を設け、(相談する・相談しない)の2件法で尋ねた。結果を大学・大学院全体で集計し、パーセンテージの多い方からグラフで示した。

「グラフ：大学・大学院全体（N=413）」



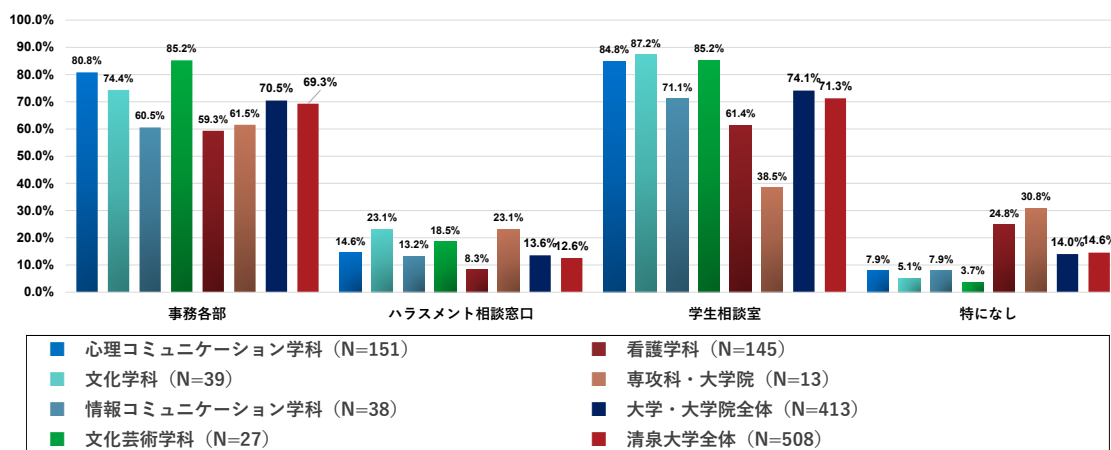
主に相談する先については、【家族】と【友人】という回答が 8 割近くを占めた。身近な存在である家族や友人は、最も相談しやすい存在であることが窺える。次いで、【大学の教職員】に相談する学生も全体の 1/3 を超えており、学生にとって教職員の存在は重要であると考えられる。このほかに【大学の学生相談室】や【専門機関（医師やカウンセラー）】【大学の保健室】で相談する学生も 1 割前後おり、家族や友人、教職員には相談しにくい悩みを相談できる場所として利用されていると考えられる。

(2) 相談窓口・施設設備関連について問う項目

①学内の相談窓口の認知に関する項目

(Q7) 学内の相談窓口の認知度

設問 7 では、大学にある各種相談窓口のうち、知っているものについて尋ねた。回答は、【事務各部】【ハラスメント相談窓口】【学生相談室】【特になし】の 4 項目を設けた。設問順をランダム化して調査し、結果を大学の学科ごと、大学・大学院全体、清泉大学全体で集計し、グラフに示した。



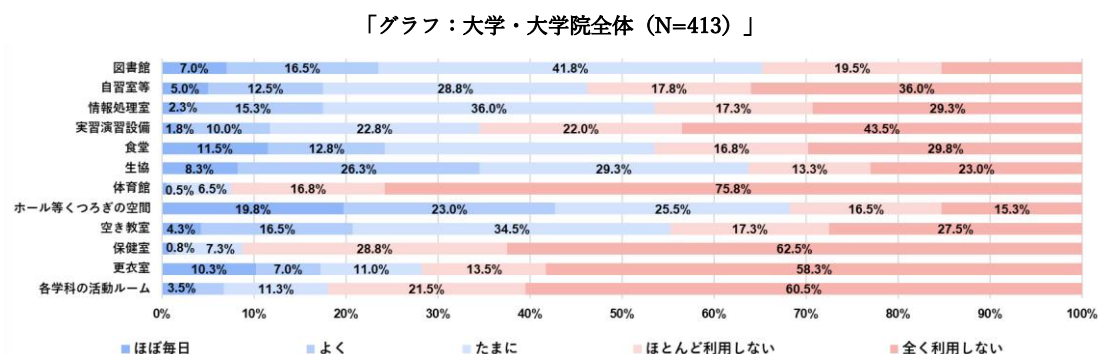
【事務各部】については、全ての学科で 6 割以上の学生が認知していた。一方、【ハラスメント相談窓口】の認知度はどの学科も 3 割に満たなかった。【学生相談室】は、専攻科・研究科 (38.6%) での認知度が低いことを除けば、全ての学科で 6 割以上の学生が認知していた。また、全ての学科で【特になし】という回答も散見された。学生にとって困

りごとに直面したなど何かあった時に、問題を解決したり自身を守ったりすることができる相談場所を知っておくことは非常に重要である。学内の相談窓口について、今後一層の周知が求められる。

②施設設備の利用に関する項目

(Q8) 授業時間外の施設設備の利用

設問 8 では、授業時間外に大学の施設・設備として【図書館】【自習室等】【情報処理室】【実習演習設備】【食堂】【生協】【体育館】【ホール等くつろぎの空間】【空き教室】【保健室】【更衣室】【各学科の活動ルーム】をどの程度利用しているかを尋ねた。回答は 5 件法（「ほぼ毎日」～「全く利用しない」）によって求め、設問順をランダムに乱して調査し、結果を大学・大学院全体で集計してグラフに示した。



施設・設備の利用頻度が多い（ほぼ毎日・よく）のは、【ホール等くつろぎの空間（40.4%）】【生協（34.4%）】【図書館設備（24.2%）】であった。その他の施設についても使用頻度に違いは見られるものの、概ねどの施設も使用されていることがわかった。

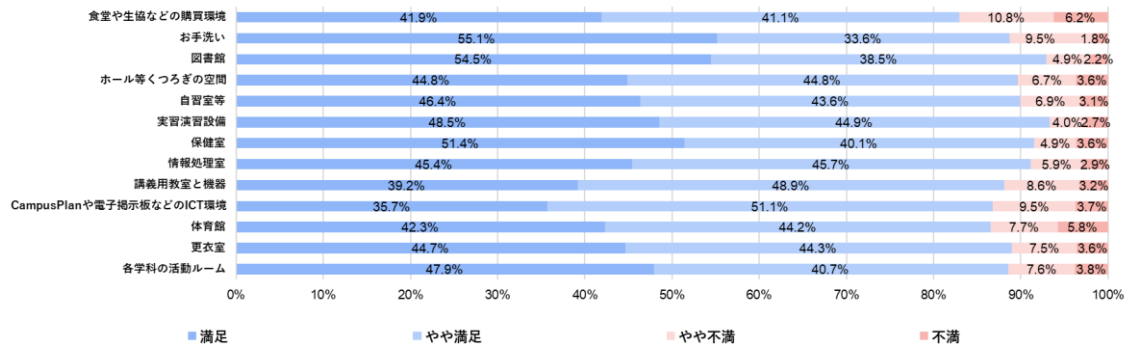
③施設設備の満足度に関する項目

(Q9) 施設設備の満足度

設問 9 では、大学・短大の施設・設備のうち、【食堂や生協などの購買環境】【お手洗い】【図書館】【ホール等くつろぎの空間】【自習室等】【実習演習設備】【保健室】【情報処理室】【講義用教室と機器】【CampusPlan や電子掲示板などの ICT 環境】【体育館】【更衣室】【各学科の活動ルーム（互習室、ほっとるーむ、STEAM 室など）】の満足度を尋ねた。回答は 5 件法（「満足」～「利用しない」）によって求め、設問順をランダムに乱して調査した。集計では「利用しない」を除いた結果を大学・大学院全体で集計してグラフに示した。

施設・設備の満足度については、いずれの施設・設備に対しても「満足」「やや満足」が 80%を超えた。学生は概ねどの施設・設備に対しても満足していると示された。

「グラフ：大学・大学院全体（N=413）」



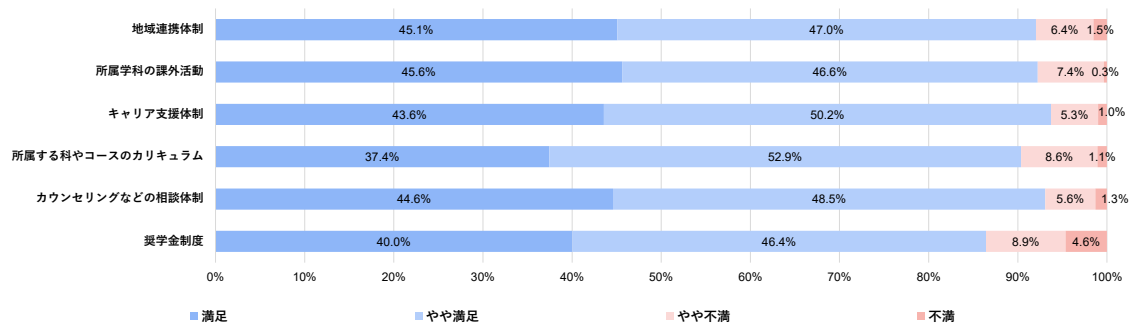
(3) 教育体制や制度・各部署の対応について問う項目

①教育体制や制度への満足度に関する項目

(Q10) 教育体制や制度に対する満足度

設問 10 では、本学の教育体制や制度について、【地域連携体制】【所属学科の課外活動】【キャリア支援体制】【所属する科やコースのカリキュラム】【カウンセリングなどの相談体制】【奨学金制度】の満足度を尋ねた。回答は 5 件法（「満足」～「利用しない」）によって求め、設問順をランダム化して調査した。集計では「利用しない」を除いた結果を大学・大学院全体で集計してグラフに示した。

「グラフ：大学・大学院全体（N=413）」



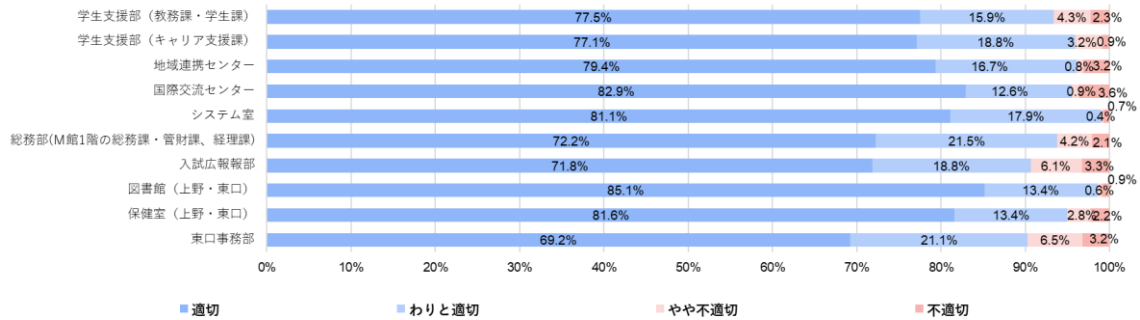
教育体制の満足度については、いずれの教育体制に対しても「満足」「やや満足」が 80%を超えた。学生は概ね本学の教育体制に対して満足していると示された。

②各部署の対応の適切さに関する項目

(Q11) 各部署の対応の適切さ

設問 11 では、本学に設置されている部署である【学生支援部（教務課・学生課）】【学生支援部（キャリア支援課）】【地域連携センター】【国際交流センター】【システム室】【総務部】【入試広報部】【図書館（上野・東口）】【保健室（上野・東口）】【東口事務部】の対応の適切さについて尋ねた。回答は 5 件法（「適切」～「利用経験なし」）によって求め、設問順をランダム化して調査した。集計では「利用しない」を除いた結果を大学・大学院全体で集計してグラフに示した。

「グラフ：大学・大学院全体 (N=413)」

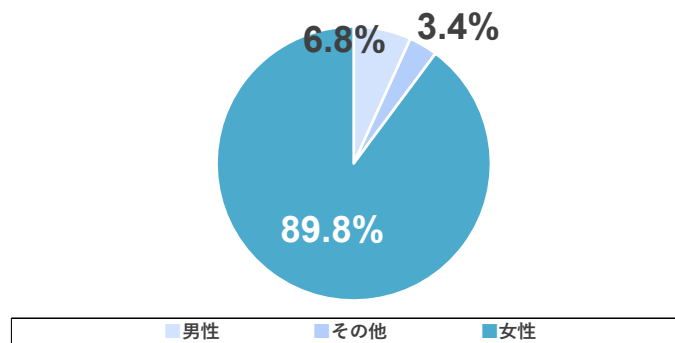


(4) 本アンケート回答者の属性について問う項目

(Q12) 回答者の性別分布

設問 12 では、本学が共学化したことを踏まえ、回答者の性別を尋ねた。大学・大学院全体で集計して、次ページにグラフに示した。回答者の 9 割弱が女性であり、男性が 6.8%、その他が 3.4%であった。

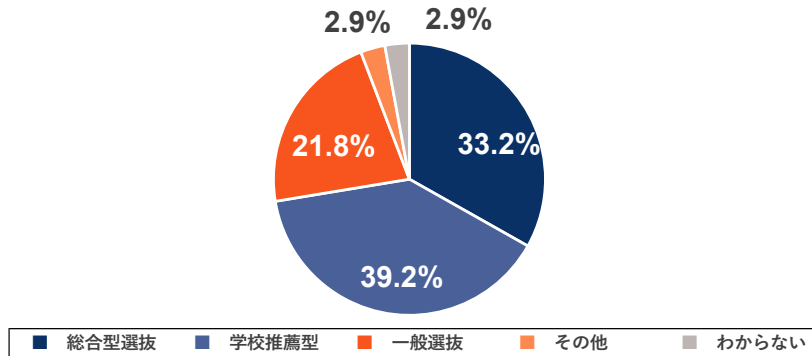
「グラフ：大学・大学院全体 (N=413)」



(Q13) 本学に入学したときの入試方法

設問 13 では、本学に入学したときの入試方法について、【総合型選抜】(特待・AO・自己推薦)、【学校推薦型】(指定校・姉妹校・公募)、【一般選抜】(個別試験・共通テスト)、【その他】(3年次編入・社会人・帰国生・専攻科・大学院)、【わからない】の 5 つに分けて尋ねた。大学・大学院全体で集計してグラフに示した。学校推薦型が 4 割弱と最も多く、次いで総合型選抜、一般選抜の順に多かった。

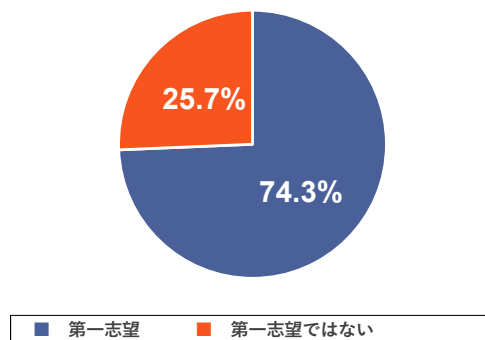
「グラフ：大学・大学院全体（N=413）」



(Q14) 本学に入学したときの志望順位

設問 14 では、本学に入学したときの志望順位を、第一志望か第一志望ではないかで尋ねた。大学・大学院全体で集計してグラフに示した。全体のおよそ 3/4 の学生が、本学に第一志望で入学していることが明らかになった。

「グラフ：大学・大学院全体（N=413）」



3. アンケートの集計（学科）

次に、学科ごと（心理コミュニケーション学科・文化学科・情報コミュニケーション学科・文化芸術学科・看護学科・専攻科・研究科）で調査を行った設問について、それぞれの設問の内容と回答の集計の概要を報告する。

（1）心理コミュニケーション学科

（Q1）回答者の所属コース

設問1では、回答者の所属コースについて尋ねた。選択肢は【1年なので所属なし】【心理コース】【英語コミュニケーションコース】の3つである。学年別及び学科全体を集計した表とグラフを示した。なお、1年生でいずれかのコースを選択しているのは、すでに2年次以降のコースを意識しているものとして、そのまま反映した。

「グラフ：コース分布（N=151）」



（Q2）所属コースのよさ・魅力・おすすめポイントについて

設問2では、所属コースのよさ・魅力・おすすめポイントについて自由記述で回答を求めた。所属コース、学年別の内容を表にまとめた。

コース	学年	自由記述
—	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・公認心理士の受験資格を得るための科目が開講しているところ ・先生が良い。授業がわかりやすい ・講義内容が面白い。優しい先生方が多い ・先生がサポートしてくれる ・先生方との距離が近く優しい ・グループワークが多く、様々な人と繋がることができること ・心理学を幅広く学べる。講師の教え方が丁寧 ・内容が興味深く面白い、民度も他のコースよりいいと思う（静修会のミサで思った） ・心理学について広く学べる点 ・心理学を学べるところ ・コミュニケーション能力の向上を目的とした活動が多いこと ・心理学で学んだことが、案外日常生活にも現れていておもしろいと感じる ・優しく、穏やかな人が多い。教授陣も、素晴らしい方が多い ・心理学を幅広く学べる ・異文化理解が深まる ・人数が少なく教師とコミュニケーションが取りやすい ・少人数制でグループワークの授業が多いため、コミュニケーションの機会が他コースよりも多いと思う ・英語を深く学べる。コミュニケーション力を高める

コース	学年	自由記述
心理 C	2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・仲がいい、授業が面白い ・グループワークが多いので、自分の意見が言える。先生との距離が近いこと ・先生との距離が近いため、授業の分からないところなどの相談しやすい ・少人数で先生と密に関われることで学びを深められる ・グループワークなどが多くあるため、いろんな人と関われるところがいいと思います ・学生数の少なさ、親身になってくれる先生がいる ・先生方が優しく、質問をしたら丁寧に答えてくださるところ。心理ピアがあるところ
	3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学の専門知識をつけることができる。実験を行うことや、実践して学ぶことが多いのでより実感を持って学ぶことができる、普段経験することの出来ない心理療法などを体験して学ぶことができる。教員が親しみやすく優しい人が多い ・たくさんの人と関わる機会がある ・教員、学生含めて優しい人が多い ・先生との距離が近く、相談しやすい ・ゆったりとしているが、グループワークでコミュニケーションスキルが磨かれる ・先生たちが暖かい ・心理学を学んでいく中で自分のストレス対処法が見つかり、以前よりもストレスを発散しやすくなった事 ・穏やか、まじめなおおおい ・先生との距離が近くわからないところを聞きやすい ・先生に相談しやすい ・相手を思いやることのできる人が多い ・先生との距離が近く、聞きたいことをすぐに聞けること ・周りの人の人柄、教員との距離 ・心理学の専門である先生たちなので、話を聞くのに慣れている先生が多いように感じます。授業のこと以外にも相談しやすい環境が魅力の1つだと思います ・先生方がすごい親身に聞いてくれる。臨床場面について知ることができる ・心理学だけでなく、Excelなどの統計的な分析や医療関係などの勉強できるため、パソコンの使い方や人間の脳や身体の仕組みなど様々な知識を付けることができるのが魅力だと思います。この入って良かったなと思います ・公認心理師のカリキュラムがあること ・カウンセリングの演習やワークで、話し役、きき役になって会話をすることでコミュニケーション力が身につくと共に、観察役という役割もあるため会話を客観的に見る視点も身につくとおもいます。傾聴力を身につけられる授業をみんな学んでいるので、普段の会話でも話しやすい雰囲気づくりができています ・心理学が学べる、心理カウンセラーにならなくても人生で役立てられることがたくさん学べる、人の気持ちに興味がある人と話せる ・幅広い心理学について学べる、教授との距離感が近くて分からないことも相談しやすい ・雰囲気があたたかいこと、相談しやすい先生がいること
	4 年	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学の視点を学ぶことで、自分の周囲の人間関係を客観視することができ、人間関係についての問題解決に役立つ。統計的な処理を行い、レポートを書く機会があるため、エクセルを使って図や表を作成できるようになる。教員が優しい。分からない部分があっても、教えてくれる ・様々な観点から心理学を学べる。グループワークを通して色んな人と関わり、色んな人の考えや人柄を知ることができる ・心理学の分野を幅広く学べる

コース	学年	自由記述
英語 C	2年	・先生との距離が近く、学びやすい ・女の子だから話しやすい
	3年	・少人数のため、先生方との距離が近く、自分の意見などが言いやすいところ
	4年	・資格が取れる。先生方と話しやすい。少人数であるため授業で発言しやすい。授業が楽しくわかりやすい。海外の方と交流する機会がある ・いい意味で厳しさのある先生と優しさのある先生がいてバランスが取れており、生徒のモチベーションを高めてくれる ・人数が少ないから、先生が1人あたりにかける時間が多いこと。学生同士の団結力が高いこと ・先生が親身になって手助けしてくれる、海外の学生と交流できる機会がある。授業が魅力的

(2) 文化学科

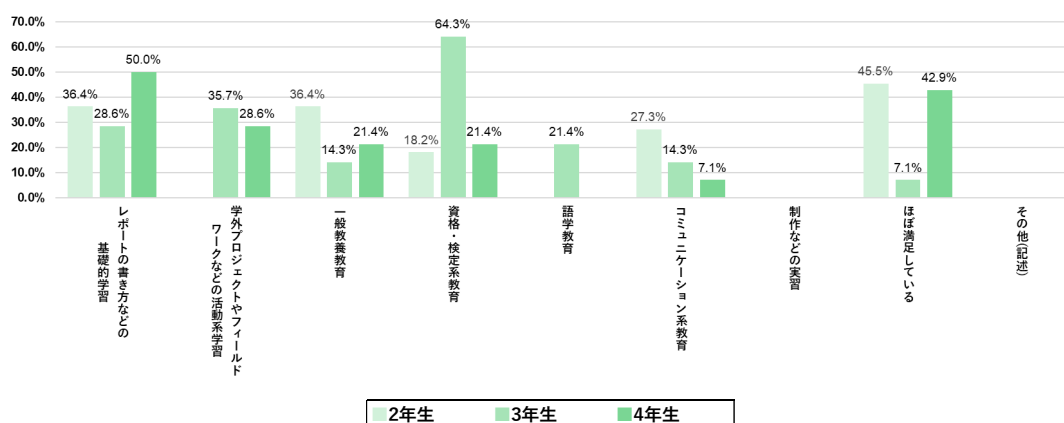
(Q1) 学科カリキュラムの中で、もっと充実させたいと感じる分野

設問 1 では、文化学科のカリキュラムの中で、もっと充実させたいと感じる分野について、【レポートの書き方などの基礎的学習】【学外プロジェクトやフィールドワークなどの活動系学習】【一般教養教育】【資格・検定系教育】【語学教育】【コミュニケーション系教育】【制作などの実習】【ほぼ満足している】【その他(記述)】の9項目から3つまで選択可として尋ねた。学科全体を集計した表と、分野別、学年別に集計したグラフを示した。

「グラフ：文化学科 (N=39)」

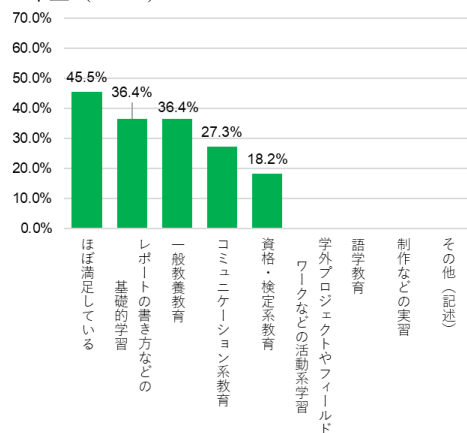
	レポートの書き方などの基礎的学習	学外プロジェクトやフィールドワークなどの活動系学習	一般教養教育	資格・検定系教育	語学教育	コミュニケーション系教育	制作などの実習	ほぼ満足している	その他
文化2年	36.4%	0.0%	36.4%	18.2%	0.0%	27.3%	0.0%	45.5%	0.0%
文化3年	28.6%	35.7%	14.3%	64.3%	21.4%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%
文化4年	50.0%	28.6%	21.4%	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%	42.9%	0.0%
文化全体	38.5%	23.1%	23.1%	35.9%	7.7%	15.4%	0.0%	30.8%	0.0%

「グラフ：充実させたいと感じる分野 分野別 (N=39)」

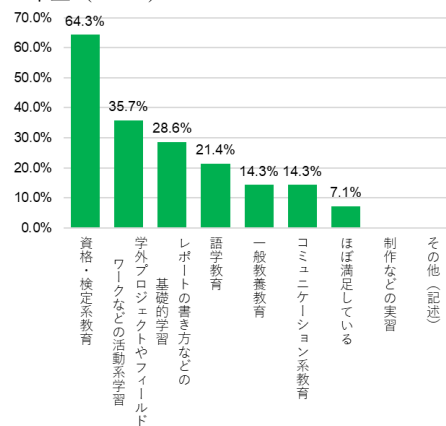


「グラフ：充実させたいと感じる分野 学年別」

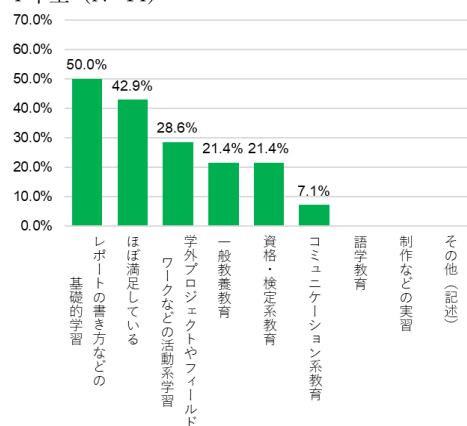
2年生 (N=11)



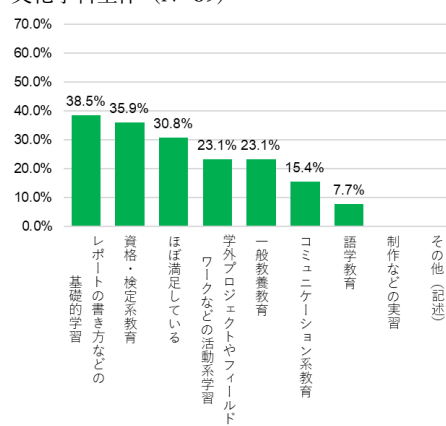
3年生 (N=14)



4年生 (N=14)



文化学科全体 (N=39)



(Q2) 文化学科のよさ・魅力・おすすめポイントについて

設問 2 では、文化学科のよさ・魅力・おすすめポイントについて自由記述で回答を求めた。学年別の内容を表にまとめた。

学年	自由記述
2年	<ul style="list-style-type: none"> 先生方との距離が近く、接しやすい点です 幅広くものを学べるので、色々な分野に関心がある人にとっては、飽きない学科だと思います。あまり人数が多くないところ 班に分かれての発表が多いので、班員での役割分担の仕方や、話し合いの進め方、また、原稿の流れ、スライドの作り方など幅広いことが学べるのが魅力だと思います 人間が行う活動である「文化」に関してベースの知識を学べると共に、自身の興味関心のある文化について研究できる 外部活動に積極的 文化学科という名前のおり、文化と言える様々な領域のものを学べること
3年	<ul style="list-style-type: none"> 幅広く色々な科目を学ぶことができ、資格まで取ることができる！学生生活もとても充実しています！先生方もとても優しく、授業も楽しいです！学食もとてもおいしいので、おすすめです！ 文化を学ぶだけでなく、それをいかに発揮するか話し合えるのが良いところ・魅力だと思います 少人数であること、授業でグループ活動が多いことで、学科のメンバー誰とでも気軽に話せる とりあえず入っておけば面白いことが見つかること 暖かい空気感 教員との距離が近いこと！
4年	<ul style="list-style-type: none"> 総合的なことが学べる場所 幅広く学べること 多様な学びが得られる

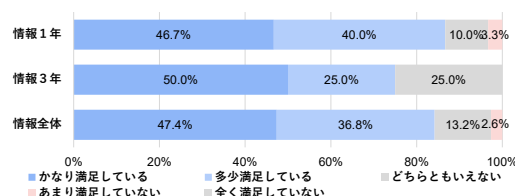
(3) 情報コミュニケーション学科

(Q1) 学科のカリキュラム構成の満足度について

設問 1 では、学科のカリキュラム構成の満足度を 5 件法（かなり満足している～全く満足していない）で尋ねた。学年別と学科全体の集計を表とグラフで示した。

「グラフ：学科のカリキュラム構成の満足度 (N=38)」

	かなり満足している	多少満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	全く満足していない	合計
情報 1 年	14	12	3	1	0	30
情報 3 年	4	2	2	0	0	8
情報全体	18	14	5	1	0	38

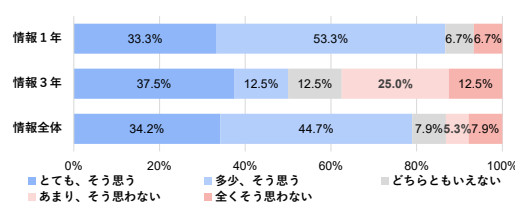


(Q2) 清泉チャレンジ制度について

設問 2 では、清泉チャレンジ制度の影響（学生生活や自己成長にとって、役に立っているか）を 5 件法（とても、そう思う～全くそう思わない）で尋ねた。学年別と学科全体の集計を表とグラフで示した。

「グラフ：清泉チャレンジ制度の影響 (N=38)」

	とても、そう思う	多少、そう思う	どちらともいえない	あまり、そう思わない	全くそう思わない	合計
情報 1 年	10	16	2	0	2	30
情報 3 年	3	1	1	2	1	8
情報全体	13	17	3	2	3	38

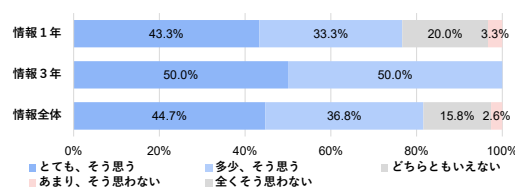


(Q3) 情報スキルを効果的に活用し、自分の意見を説明する力

設問 3 では、情報スキルを効果的に活用し、自分の意見を説明する力が向上したかを 5 件法（とても、そう思う～全くそう思わない）で尋ねた。学年別と学科全体の集計を表とグラフで示した。

「グラフ：情報スキルの影響 (N=38)」

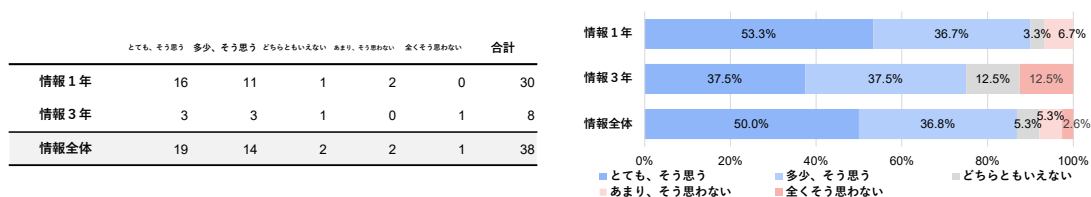
	とても、そう思う	多少、そう思う	どちらともいえない	あまり、そう思わない	全くそう思わない	合計
情報 1 年	13	10	6	1	0	30
情報 3 年	4	4	0	0	0	8
情報全体	17	14	6	1	0	38



(Q4) 社会課題の解決に貢献していききたいという意欲

設問 4 では、社会課題の解決に貢献したいという意欲が高まったかを 5 件法（とても、そう思う～全くそう思わない）で尋ねた。学年別と学科全体の集計を表とグラフで示した。

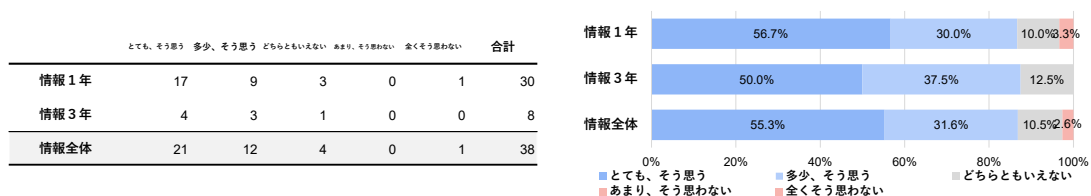
「グラフ：社会課題の解決への貢献意欲（N=38）」



(Q5) 協調性やコミュニケーション能力

設問 5 では、協調性やコミュニケーション力が高まったと思うかを 5 件法（とても、そう思う～全くそう思わない）で尋ねた。学年別と学科全体の集計を表とグラフで示した。

「グラフ：協調性・コミュニケーション力の向上（N=38）」



(4) 文化芸術学科

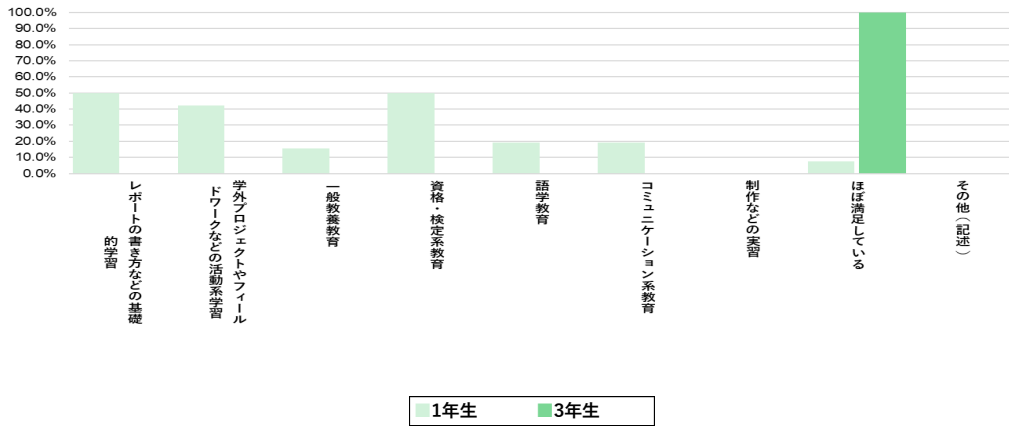
(Q1) 学科のカリキュラムの中で、もっと充実させたいと感じる分野

設問 1 では、文化芸術学科のカリキュラムの中で、もっと充実させたいと感じる分野について、【レポートの書き方などの基礎的学習】【学外プロジェクトやフィールドワークなどの活動系学習】【一般教養教育】【資格・検定系教育】【語学教育】【コミュニケーション系教育】【製作などの実習】【ほぼ満足している】【その他（記述）】の 9 項目から 3 つまで選択可として尋ねた。学科全体を集計した表と、分野別、学年別に集計したグラフを示した。

「グラフ：文化芸術学科（N=27）」

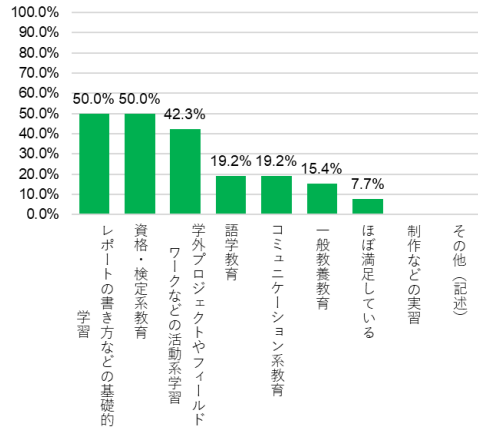
	レポートの書き方などの基礎的学習	学外プロジェクトやフィールドワークなどの活動系学習	一般教養教育	資格・検定系教育	語学教育	コミュニケーション系教育	制作などの実習	ほぼ満足している	その他
文芸 1年	50.0%	42.3%	15.4%	50.0%	19.2%	19.2%	0.0%	7.7%	0.0%
文芸 3年	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
文芸全体	48.1%	40.7%	14.8%	48.1%	18.5%	18.5%	0.0%	11.1%	0.0%

「グラフ：充実させたいと感じる分野 分野別 (N=27)」

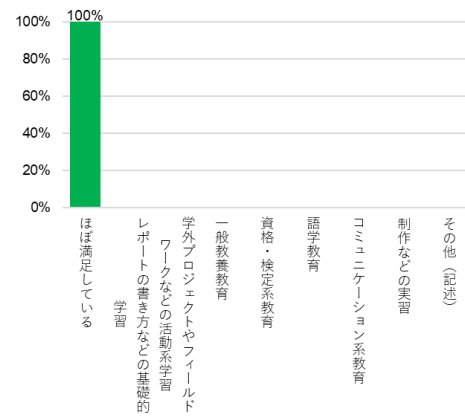


「グラフ：充実させたいと感じる分野 学年別」

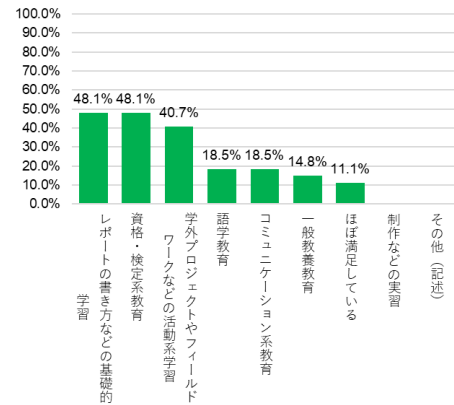
1年生 (N=26)



3年生 (N=1)



文化芸術学科全体 (N=27)



(Q2) 文化芸術学科のよさ・魅力・おすすめポイントについて

設問 2 では、文化芸術学科のよさ・魅力・おすすめポイントについて自由記述で回答を求めた。学年別の内容を表にまとめた。

学年	自由記述
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学習から発展的な学習まで自分の興味のある分野を学べること ・学外活動に参加しやすい環境が整っている点 ・コミュニケーションを通じて考え方や価値観が変わりより良い学びに繋げていける、成長していると思う ・文化芸術に関係することをさまざまな角度から学ぶことができる ・グループワークが多く、いろんな人の意見を聞き、新たな視点を見つけられるところ。そしていろいろな人との関わりが増え、コミュニケーション能力も上がっていくと思う ・講義は一つ一つ丁寧に説明を進めるため、ついていけなくなることはない。グループワークではみんなとチームワークの経験ができる ・和気あいあいとした雰囲気 ・グループワークなどが盛んで、全員と関わることができ、仲良くなれるチャンスが多い。みんな優しい ・様々な学外活動に参加できること。グループワークで、たくさん他の人と話すことができること。学芸員と図書館司書の資格を取得することができる ・ワークショップで意見が交換できる ・他の学科よりもボランティア活動が活発だと感じている ・地域との関わりが多いため、コミュニケーション能力が身につくだけでなく、様々な文化に触れることで新たな課題を見つけ、それを解決していく方法を考えることができる ・男女関係なく話し合える所 ・美術について、絵そのものではなく詳しく流れや理屈を学べる。宗教について学べる ・全体的に落ち着いた人が多く過ごしやすい。また、司書と学芸員の資格に関する講義を受けることができるので自分の将来の道を広げることに繋がる ・専門的な分野と一般教養が同時に学べる ・先生が親しみやすい ・グループワークが多くてコミュニケーション能力を養うことができる ・文化芸術学科はグループワークが多いので、話したことの無い人とも話したり新たな気づきを得たりすることができる所が良いと思う ・先生方が親身になってくれるため、相談がしやすい ・グループワークが多いので色々な人とコミュニケーションを取ることができ、それを他の授業でグループワークなどがあった際に活かせる。先生方と同じ学科の人の雰囲気に居心地の良さを感じる
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・親切的な教員が多い。穏やか

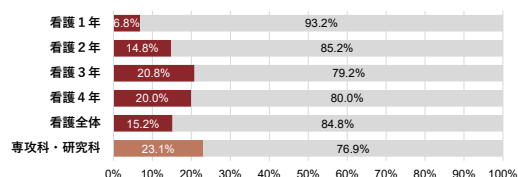
(5) 看護学部（看護学科・専攻科・研究科）

(Q1) 地域に関わる活動

設問 1 では、授業・サークル・アルバイト以外で、地域に関わる活動をしているかについて、2 件法（はい・いいえ）で尋ね、活動内容を自由記述で尋ねた。学年別と学科全体、専攻科・研究科の集計を表とグラフにまとめた。

「グラフ：地域に関わる活動（N=158）」

	はい	いいえ	回答総数
看護 1 年	3	41	44
看護 2 年	4	23	27
看護 3 年	5	19	24
看護 4 年	10	40	50
看護全体	22	123	145
専攻科・研究科	3	10	13

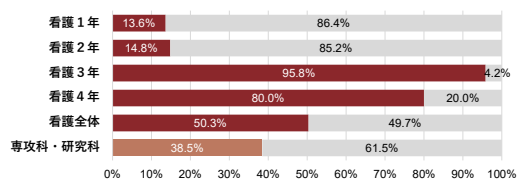


(Q2) 卒業後の進路のための準備について

設問 2 では、卒業後の進路のために準備をしているかについて、2 件法（している・していない）で尋ねた。学年別と学科全体、専攻科・研究科の集計を表とグラフにまとめた。

「グラフ：卒業後の進路のための準備（N=158）」

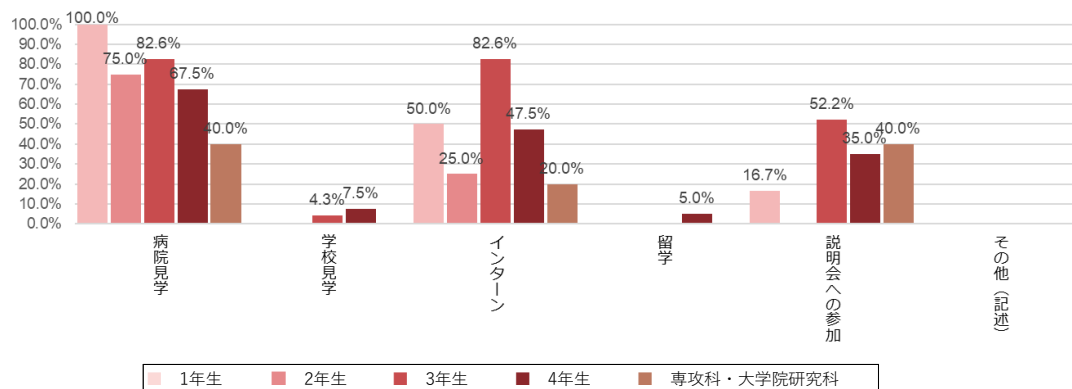
	している	していない	回答総数
看護 1 年	6	38	44
看護 2 年	4	23	27
看護 3 年	23	1	24
看護 4 年	40	10	50
看護全体	73	72	145
専攻科・研究科	5	8	13



(Q3) 卒業後の進路のための準備の内容

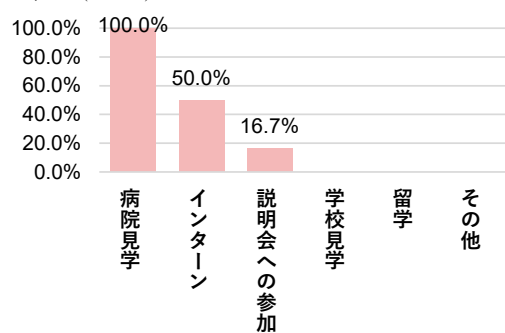
設問 3 では、設問 2 で「（準備）している」と回答した回答者から、準備している内容について尋ねた。回答方法は【病院見学】【学校見学】【インターン】【留学】【説明会への参加】【その他（記述）】の 6 項目から複数選択可として尋ねた。選択肢別と学年別（学科全体、専攻科・研究科を含む）の集計をグラフにまとめた。

「グラフ：卒業後の進路のための準備 選択肢別（N=158）」

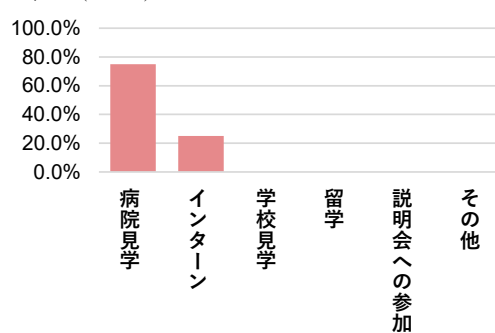


「グラフ：卒業後の進路のための準備 学年別」

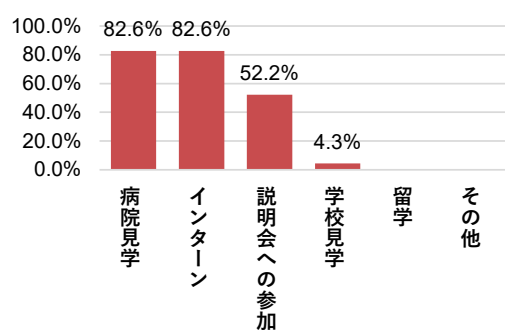
1年生 (N=44)



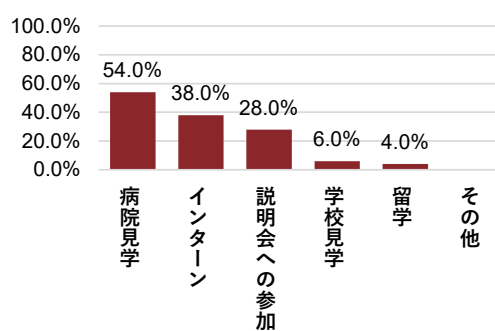
2年生 (N=27)



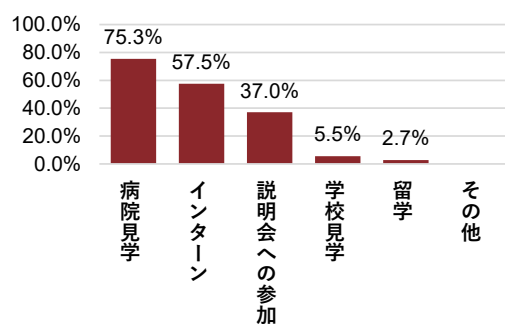
3年生 (N=24)



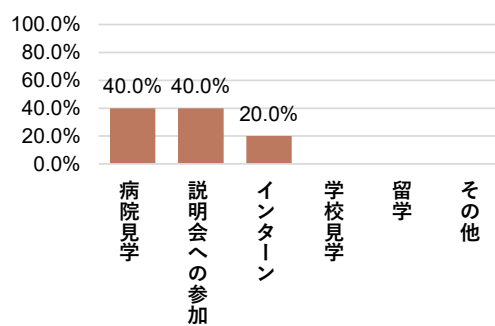
4年生 (N=50)



看護学科全体 (N=145)



専攻科・大学院研究科 (N=13)



4. アンケートの統計的分析

2025年度の学生生活アンケートの集計結果に基づき、学生生活の各種要因が特に入学満足度及び教育満足度に対してどのような連関性がみられるのかを検討するため、全学部学科の学生（ $N=508$ ）の回答を対象として、入学満足度及び教育満足度を目的変数とした重回帰分析と、クロス表を用いた統計的分析を行った。

(1) 入学満足度に影響を与えている要因の検討

(分析1) 重回帰分析

まず、Q1で尋ねた【入学満足度】を目的変数とし、その他全ての変数（91個）を用いたステップワイズ法による重回帰分析を実施した。その結果、以下の表に示した7個の変数が有意な予測因子であることが示された。

ステップワイズ法による重回帰分析：有意な変数一覧

変数名	B	β	t
教育満足度 (Q2)	0.41	.41	9.81 **
学内での居場所 (Q3)	0.20	.23	5.95 **
進路計画 (Q1)	0.12	.14	4.53 **
カリキュラム満足 (Q10)	0.16	.11	3.66 **
共学化後の学生生活 (Q3)	-0.07	-.09	-2.77 **
専任教員との関係 (Q3)	0.08	.10	2.73 **
健康・成長意欲 (Q2)	0.09	.09	2.50 *

$R^2 = .63$ **

** $p < .01$, * $p < .05$

この結果から、【入学満足度】（入学した学部・学科が自分に合っている等）に影響を与えている変数は、【教育満足度】（将来に向けて必要な学びが準備されている等）【学内での居場所】（大学の中に自分の居場所がある等）【進路計画】（入学に際して、自分の進路を想定して本学を選んだ等）【カリキュラム満足】（所属する科やコースのカリキュラムに満足している）【共学化後の学生生活】（性別にかかわらず、他の学生と交流しやすい雰囲気がある等）【専任教員との関係】（困ったときに相談できる先生がいる等）【健康・成長意欲】（私は自分に満足している等）であることが示された。教育内容やカリキュラムの充実や、学生の居場所づくり、卒業後の進路とのつながりの周知、学生同士、学生と教職員の人間関係に一層の配慮をもつこと、学生自身の健康や成長を支援すること等が、学生の入学満足度を高める上で有効であることが推察される。

(分析 2) クロス表

次に、入学満足度に対して、教育満足度の次に説明力が高かった 2 つの変数（学内での居場所・進路計画）について、以下の通りクロス表を用いて詳細な傾向を検討した。なお、各因子における得点で 8 点以下=1（低群）、9 点以上=2（高群）と変換して群分けを行った。

クロス表：入学満足度×学内での居場所 (比率%)

変数	出現値	学内での居場所 (Q3)		合計
		1	2	
入学満足度 (Q1)	1	6.69	4.53	11.22
	2	14.17	74.61	88.78
	合計	20.87	79.13	100

クロス表：入学満足度×進路計画 (比率%)

変数	出現値	進路計画 (Q1)		合計
		1	2	
入学満足度 (Q1)	1	7.28	3.94	11.22
	2	21.06	67.72	88.78
	合計	28.35	71.65	100

カイ二乗検定の結果、入学満足度と学内での居場所 ($\chi^2(1) = 58.48, p = .000, V=0.339$)、進路計画 ($\chi^2 = 42.27, p = .000, V=0.288$) には有意な関連が認められた。入学満足度が高い群は、低い群と比べて学内での居場所、進路計画得点の高い群が多く、また入学満足度が低い群は、高い群と比べて学内での居場所、進路計画得点の低い群が多いことが示された。このことから、大学・短大に自分の居場所があると感じられることや、入学前から自分の進路を計画して進学先を検討していることが、入学満足度に寄与していると考えられる。

(2) 教育満足度に影響を与えている要因の検討

(分析 1) 重回帰分析

次に、Q2 で尋ねた【教育満足度】を目的変数とし、その他全ての変数 (91 個) を用いたステップワイズ法による重回帰分析を実施した。その結果、以下の表に示した 6 個の変数が有意な予測因子であることが示された。

この結果から、【教育満足度】(将来に向けて必要な学びが準備されている等) に影響を与えている変数は、【入学満足度】(入学した学部・学科が自分に合っている等) 【健康・成長意欲】(私は自分に満足している等) 【学内での居場所】(大学の中に自分の居場所がある等) 【購買環境満足】(食堂や生協などの購買環境に満足している) 【ディプロマ・ポリシーの認知】(所属学部の卒業時に身につく力を説明できる等) 【専任教員と

ステップワイズ法による重回帰分析：有意な変数一覧

変数名	B	β	t
入学満足度 (Q1)	0.42	.42	11.054 **
健康・成長意欲 (Q2)	0.25	.26	7.391 **
学内での居場所 (Q3)	0.11	.11	2.968 **
購買環境満足(Q9)	0.10	.10	3.667 **
ディプロマ・ポリシー (Q1)	0.08	.08	2.565 *
専任教員との関係 (Q3)	0.07	.07	2.123 *

$R^2 = .64$ **

** $p < .01$, * $p < .05$

の関係】（困ったときに相談できる先生がいる等）であることが示された。入学満足度が教育満足度にも影響が大きいという他に、学生自身の健康や成長を支援すること、学生の居場所づくり、購買環境の充実、ディプロマ・ポリシーの周知、学生と教職員の人間関係に一層の配慮をもつこと等が、学生の教育満足度を高める上で有効であることが推察される。

（分析2）クロス表

次に、教育満足度に対して、入学満足度の次に説明力が高かった2つの変数（健康・成長意欲・学内での居場所）について、以下の通りクロス表を用いて詳細な傾向を検討した。なお、各因子における得点で8点以下=1（低群）、9点以上=2（高群）と変換して群分けを行った。

クロス表：教育満足度×健康・成長意欲（比率%）

変数	健康・成長意欲 (Q2)			合計
	出現値	1	2	
教育満足度	1	9.45	5.12	14.57
(Q2)	2	18.11	67.32	85.43
	合計	27.56	72.44	100

クロス表：教育満足度×学内での居場所（比率%）

変数	学内での居場所 (Q2)			合計
	出現値	1	2	
教育満足度	1	7.68	6.89	14.57
(Q2)	2	13.19	72.24	85.43
	合計	20.87	79.13	100

カイ二乗検定の結果、教育満足度と健康・成長意欲 ($\chi^2(1) = 60.38, p = .000, V=0.345$)、学内での居場所 ($\chi^2 = 53.17, p = .000, V=0.324$) には有意な関連が認められ

た。教育満足度が高い群は、低い群と比べて健康・成長意欲、学内での居場所得点の高い群が多く、また教育満足度が低い群は、高い群と比べて健康・成長意欲、学内での居場所得点の低い群が多いことが示された。このことから、心理的に健康であることや成長する意欲、大学・短大に自分の居場所があると感じられることが、教育満足度に寄与していると考えられる。

<付録 各設問の学科別集計>

1. Q1 ディプロマ・ポリシーの認知・入学満足度・進路計画 について問う項目

		ディプロマ・ポリシーの認知項目		入学満足度項目		進路計画項目	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
短期大学部	こども学科・幼児教育科 (N=79)	9.09	2.18	10.59	1.68	10.61	1.60
	国際コミュニケーション科 (N=16)	7.94	2.14	9.81	1.56	9.13	1.54
大学	心理コミュニケーション学科 (N=151)	7.19	1.99	10.11	1.62	8.20	1.99
	文化学科 (N=39)	8.28	1.69	10.38	1.73	8.72	2.11
	情報コミュニケーション学科 (N=38)	7.95	2.07	10.61	1.44	8.84	1.60
	文化芸術学科 (N=27)	8.67	2.02	10.89	1.19	9.74	1.68
	看護学科 (N=145)	8.81	1.84	9.94	1.74	10.26	1.67
	助産学専攻科・大学院看護学研究科 (N=13)	9.77	2.20	10.69	2.06	9.62	2.26
	短期大学部全体 (N=95)	8.89	2.20	10.46	1.68	10.36	1.68
	大学・大学院全体 (N=413)	8.11	2.07	10.19	1.67	9.17	2.05
	清泉大学全体 (N=508)	8.25	2.11	10.24	1.67	9.40	2.03

2. Q2 教育満足度・将来のキャリアイメージ・健康・成長意欲 について問う項目

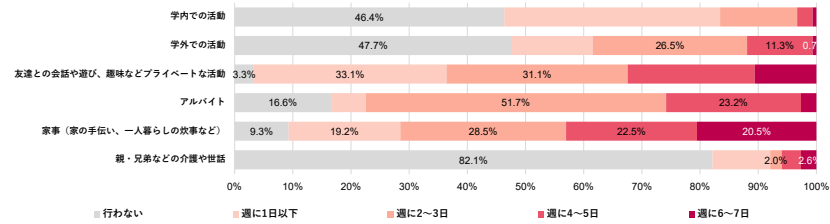
		教育満足度		将来の進路イメージ		健康・成長意欲目	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
短期大学部	こども学科・幼児教育科 (N=79)	10.29	1.56	9.35	1.88	9.95	1.56
	国際コミュニケーション科 (N=16)	9.06	1.57	8.19	2.01	8.31	1.74
大学	心理コミュニケーション学科 (N=151)	9.68	1.54	7.84	2.13	9.01	1.69
	文化学科 (N=39)	10.08	1.38	7.62	2.09	8.97	1.68
	情報コミュニケーション学科 (N=38)	10.37	1.38	7.05	1.69	9.26	1.80
	文化芸術学科 (N=27)	10.56	1.45	7.85	2.32	9.41	1.82
	看護学科 (N=145)	9.72	1.82	9.32	1.61	9.68	1.67
	助産学専攻科・大学院看護学研究科 (N=13)	10.23	2.39	8.77	1.54	9.31	2.36
	短期大学部全体 (N=95)	10.08	1.62	9.16	1.94	9.67	1.70
	大学・大学院全体 (N=413)	9.87	1.66	8.90	2.07	9.30	1.76
	清泉大学全体 (N=508)	9.91	1.65	8.46	2.07	9.37	1.75

3. Q3 専任教員との関係・友人関係・学内での居場所・共学化後の学生生活 について問う項目

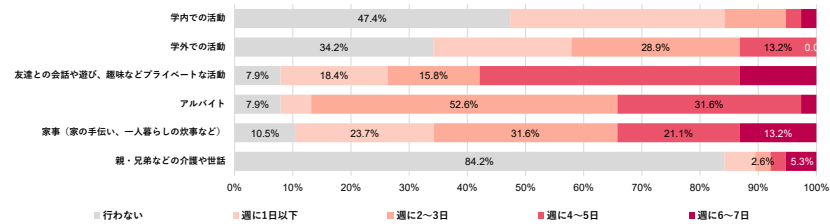
		専任教員との関係		友人関係		学内での居場所		共学化後の学生生活	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
短期大学部	こども学科・幼児教育科 (N=79)	9.63	2.18	10.65	1.48	9.77	1.99	8.89	2.33
	国際コミュニケーション科 (N=16)	9.06	1.98	9.50	2.25	10.06	1.29	8.38	1.67
大学	心理コミュニケーション学科 (N=151)	9.17	2.16	9.87	2.30	9.55	1.91	8.37	2.31
	文化学科 (N=39)	9.08	2.08	10.15	2.13	10.26	1.87	7.95	2.47
	情報コミュニケーション学科 (N=38)	9.55	2.26	11.00	1.29	10.03	1.55	9.11	2.12
	文化芸術学科 (N=27)	9.22	2.10	10.56	2.15	10.59	1.37	9.67	2.04
	看護学科 (N=145)	8.68	2.37	10.54	1.95	9.59	2.09	8.99	2.42
	助産学専攻科・大学院看護学研究科 (N=13)	10.69	1.65	11.15	1.77	10.15	2.15	9.62	1.98
	短期大学部全体 (N=95)	9.54	2.15	10.45	1.67	9.82	1.88	8.80	2.23
	大学・大学院全体 (N=413)	9.08	2.25	10.32	2.09	9.76	1.94	8.74	2.36
	清泉大学全体 (N=508)	9.16	2.23	10.35	2.02	9.77	1.93	8.75	2.33

4. Q4 1週間当たりの時間の使い方 について問う項目

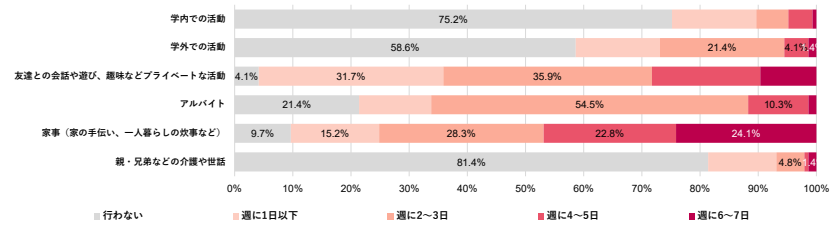
心理コミュニケーション学科



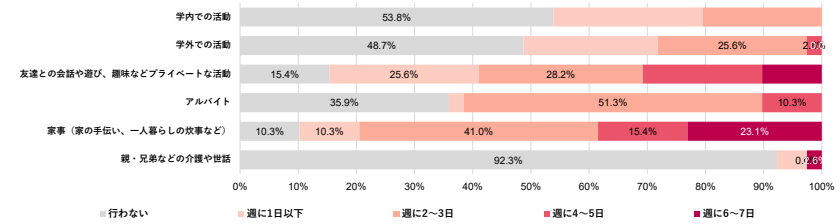
情報コミュニケーション学科



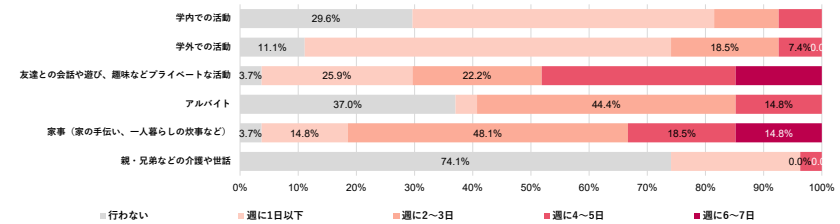
看護学科



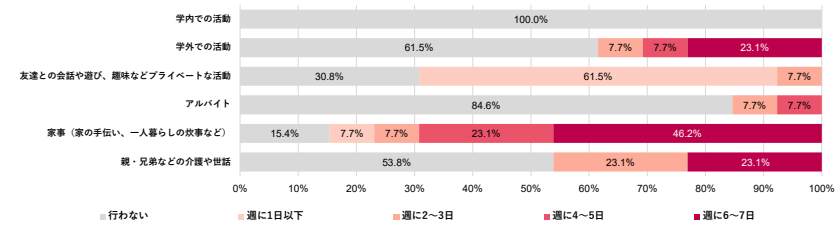
文化学科



文化芸術学科



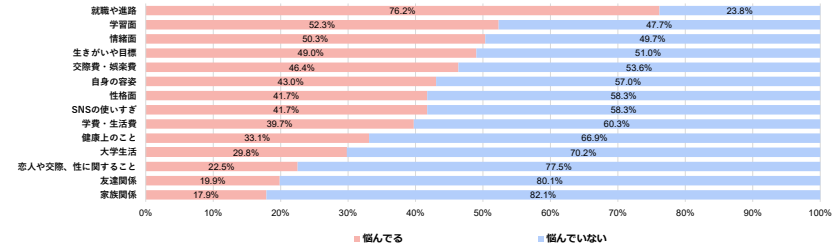
助産学専攻科・大学院看護学研究科



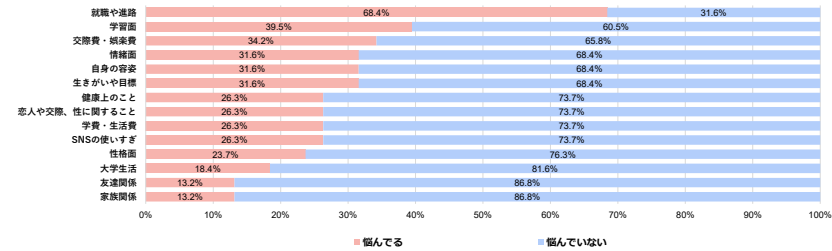
			学内での活動	学外での活動	友達との会話や遊び、趣味などプライベートな活動	アルバイト	家事（家の手伝い、一人暮らしの炊事など）	親・兄弟などの介護や世話
短期大学部	こども学科・幼児教育科 (N=79)	行わない	39.2%	58.2%	1.3%	27.8%	15.2%	77.2%
		週に1日以下	45.6%	17.7%	29.1%	11.4%	24.1%	7.6%
		週に2～3日	11.4%	16.5%	26.6%	38.0%	27.8%	6.3%
		週に4～5日	3.8%	7.6%	26.6%	20.3%	15.2%	3.8%
		週に6～7日	0.0%	0.0%	16.5%	2.5%	17.7%	5.1%
	国際コミュニケーション科 (N=16)	行わない	56.3%	37.5%	12.5%	12.5%	12.5%	81.3%
		週に1日以下	37.5%	31.3%	18.8%	6.3%	0.0%	12.5%
		週に2～3日	6.3%	12.5%	25.0%	37.5%	50.0%	6.3%
		週に4～5日	0.0%	18.8%	37.5%	43.8%	31.3%	0.0%
		週に6～7日	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%
大学	心理コミュニケーション学科 (N=151)	行わない	46.4%	47.7%	3.3%	16.6%	9.3%	82.1%
		週に1日以下	37.1%	13.9%	33.1%	6.0%	19.2%	9.9%
		週に2～3日	13.2%	26.5%	31.1%	51.7%	28.5%	2.0%
		週に4～5日	2.6%	11.3%	21.9%	23.2%	22.5%	3.3%
		週に6～7日	0.7%	0.7%	10.6%	2.6%	20.5%	2.6%
	文化学科 (N=39)	行わない	53.8%	48.7%	15.4%	35.9%	10.3%	92.3%
		週に1日以下	25.6%	23.1%	25.6%	2.6%	10.3%	5.1%
		週に2～3日	20.5%	25.6%	28.2%	51.3%	41.0%	0.0%
		週に4～5日	0.0%	2.6%	20.5%	10.3%	15.4%	0.0%
		週に6～7日	0.0%	0.0%	10.3%	0.0%	23.1%	2.6%
	情報コミュニケーション学科 (N=38)	行わない	47.4%	34.2%	7.9%	7.9%	10.5%	84.2%
		週に1日以下	36.8%	23.7%	18.4%	5.3%	23.7%	5.3%
		週に2～3日	10.5%	28.9%	15.8%	52.6%	31.6%	2.6%
		週に4～5日	2.6%	13.2%	44.7%	31.6%	21.1%	2.6%
		週に6～7日	2.6%	0.0%	13.2%	2.6%	13.2%	5.3%
	文化芸術学科 (N=27)	行わない	29.6%	11.1%	3.7%	37.0%	3.7%	74.1%
		週に1日以下	51.9%	63.0%	25.9%	3.7%	14.8%	22.2%
		週に2～3日	11.1%	18.5%	22.2%	44.4%	48.1%	0.0%
		週に4～5日	7.4%	7.4%	33.3%	14.8%	18.5%	3.7%
		週に6～7日	0.0%	0.0%	14.8%	0.0%	14.8%	0.0%
	看護学科 (N=145)	行わない	75.2%	58.6%	4.1%	21.4%	9.7%	81.4%
		週に1日以下	14.5%	14.5%	31.7%	12.4%	15.2%	11.7%
		週に2～3日	5.5%	21.4%	35.9%	54.5%	28.3%	4.8%
		週に4～5日	4.1%	4.1%	18.6%	10.3%	22.8%	0.7%
週に6～7日		0.7%	1.4%	9.7%	1.4%	24.1%	1.4%	
助産学専攻科・大学院看護学専攻科 (N=13)	行わない	100.0%	61.5%	30.8%	84.6%	15.4%	53.8%	
	週に1日以下	0.0%	0.0%	61.5%	0.0%	7.7%	0.0%	
	週に2～3日	0.0%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	23.1%	
	週に4～5日	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	23.1%	0.0%	
	週に6～7日	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	46.2%	23.1%	
短期大学部全体 (N=95)	行わない	42.1%	54.7%	3.2%	25.9%	14.7%	77.9%	
	週に1日以下	44.2%	20.0%	27.4%	10.5%	20.0%	8.4%	
	週に2～3日	10.5%	15.8%	26.3%	37.9%	31.6%	6.3%	
	週に4～5日	3.2%	9.5%	28.4%	24.2%	17.9%	3.2%	
	週に6～7日	0.0%	0.0%	14.7%	2.1%	15.8%	4.2%	
大学・大学院全体 (N=413)	行わない	54.7%	48.4%	6.1%	22.8%	9.4%	81.6%	
	週に1日以下	27.8%	18.6%	31.0%	7.5%	16.7%	10.2%	
	週に2～3日	10.4%	23.7%	29.8%	50.8%	30.5%	3.4%	
	週に4～5日	3.1%	7.7%	22.8%	17.2%	21.5%	1.9%	
	週に6～7日	0.7%	1.5%	10.4%	1.7%	21.8%	2.9%	
清泉大学全体 (N=508)	行わない	54.9%	49.6%	5.5%	23.2%	10.4%	80.9%	
	週に1日以下	30.9%	18.9%	30.3%	8.1%	17.3%	9.8%	
	週に2～3日	10.4%	22.2%	29.1%	48.4%	30.7%	3.9%	
	週に4～5日	3.1%	8.1%	23.8%	18.5%	20.9%	2.2%	
	週に6～7日	0.6%	1.2%	11.2%	1.8%	20.7%	3.1%	

5. Q5 現在の悩み事 について問う項目

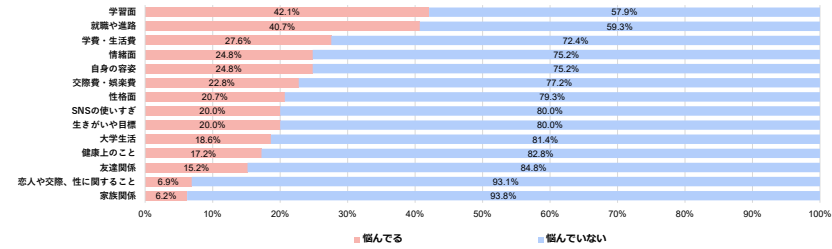
心理コミュニケーション学科



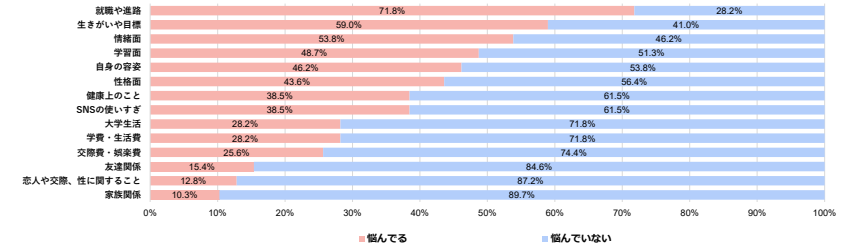
情報コミュニケーション学科



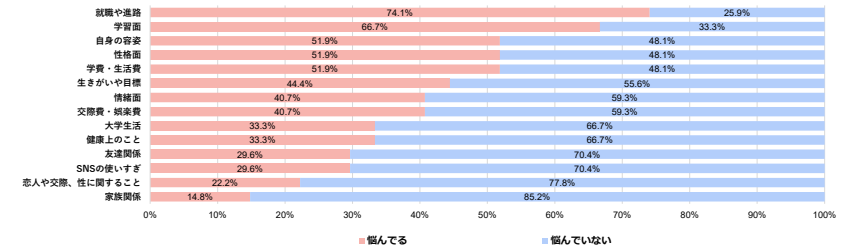
看護学科



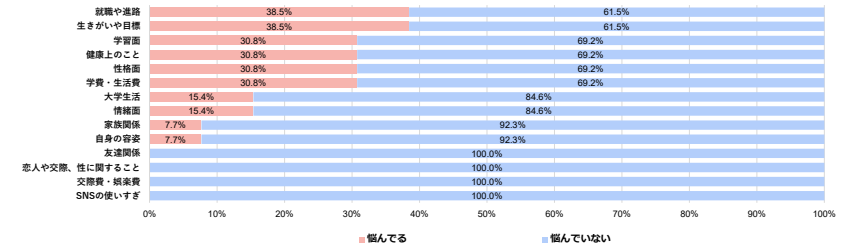
文化学科



文化芸術学科



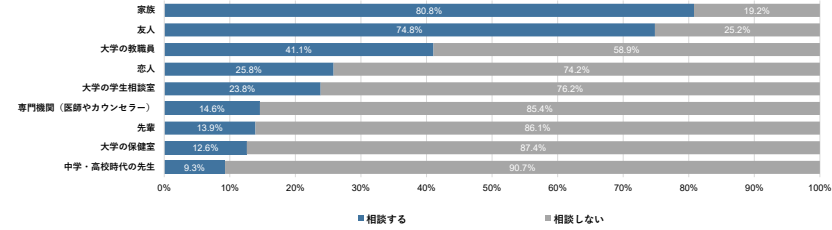
助産学専攻科・大学院看護学研究科



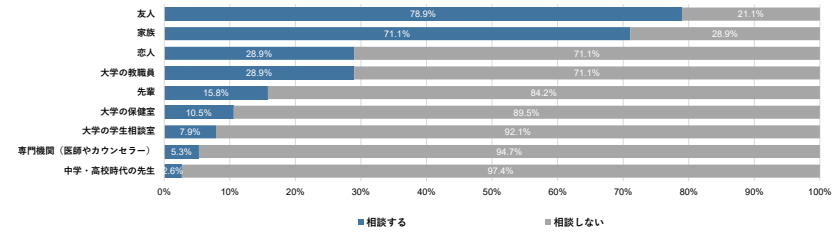
			学習面	友達関係	大学生活	就職や進路	家族関係	健康上的こと	情緒面	自身の容姿	性格面	恋人や交際、性 に関すること	交際費・娯楽費	学費・生活費	SNSの使いすぎ	生きがいや目標
短期大学部	こども学科・幼児教育科 (N=79)	悩んでいない	77.2%	79.7%	89.9%	54.4%	91.1%	86.1%	79.7%	74.7%	72.2%	84.8%	72.2%	81.0%	78.5%	86.1%
		悩んでいる	22.8%	20.3%	10.1%	45.6%	8.9%	13.9%	20.3%	25.3%	27.8%	15.2%	27.8%	19.0%	21.5%	13.9%
	国際コミュニケーション科 (N=16)	悩んでいない	62.5%	81.3%	93.8%	50.0%	81.3%	87.5%	68.8%	75.0%	75.0%	87.5%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
		悩んでいる	37.5%	18.8%	6.3%	50.0%	18.8%	12.5%	31.3%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
大学	心理コミュニケーション学科 (N=151)	悩んでいない	47.7%	80.1%	70.2%	23.8%	82.1%	66.9%	49.7%	57.0%	58.3%	77.5%	53.6%	60.3%	58.3%	51.0%
		悩んでいる	52.3%	19.9%	29.8%	76.2%	17.9%	33.1%	50.3%	43.0%	41.7%	22.5%	46.4%	39.7%	41.7%	49.0%
	文化学科 (N=39)	悩んでいない	51.3%	84.6%	71.8%	28.2%	89.7%	61.5%	46.2%	53.8%	56.4%	87.2%	74.4%	71.8%	61.5%	41.0%
		悩んでいる	48.7%	15.4%	28.2%	71.8%	10.3%	38.5%	53.8%	46.2%	43.6%	12.8%	25.6%	28.2%	38.5%	59.0%
	情報コミュニケーション学科 (N=38)	悩んでいない	60.5%	86.8%	81.6%	31.6%	86.8%	73.7%	68.4%	68.4%	76.3%	73.7%	65.8%	73.7%	73.7%	68.4%
		悩んでいる	39.5%	13.2%	18.4%	68.4%	13.2%	26.3%	31.6%	31.6%	23.7%	26.3%	34.2%	26.3%	26.3%	31.6%
	文化芸術学科 (N=27)	悩んでいない	33.3%	70.4%	66.7%	25.9%	85.2%	66.7%	59.3%	48.1%	48.1%	77.8%	59.3%	48.1%	70.4%	55.6%
		悩んでいる	66.7%	29.6%	33.3%	74.1%	14.8%	33.3%	40.7%	51.9%	51.9%	22.2%	40.7%	51.9%	29.6%	44.4%
	看護学科 (N=145)	悩んでいない	57.9%	84.8%	81.4%	59.3%	93.8%	82.8%	75.2%	75.2%	79.3%	93.1%	77.2%	72.4%	80.0%	80.0%
		悩んでいる	42.1%	15.2%	18.6%	40.7%	6.2%	17.2%	24.8%	24.8%	20.7%	6.9%	22.8%	27.6%	20.0%	20.0%
助産学専攻科・大学院看護学研究科 (N=13)	悩んでいない	69.2%	100.0%	84.6%	61.5%	92.3%	69.2%	84.6%	92.3%	69.2%	100.0%	100.0%	69.2%	61.5%		
	悩んでいる	30.8%	0.0%	15.4%	38.5%	7.7%	30.8%	15.4%	7.7%	30.8%	0.0%	0.0%	30.8%	38.5%		
短期大学部全体 (N=95)	悩んでいない	74.7%	80.0%	90.5%	53.7%	89.5%	86.3%	77.9%	74.7%	72.6%	85.3%	72.6%	80.0%	77.9%	84.2%	
	悩んでいる	25.3%	20.0%	9.5%	46.3%	10.5%	13.7%	22.1%	25.3%	27.4%	14.7%	27.4%	20.0%	22.1%	15.8%	
大学・大学院全体 (N=413)	悩んでいない	52.5%	82.8%	75.5%	38.7%	87.9%	72.6%	61.7%	64.6%	66.8%	84.3%	66.8%	66.3%	69.7%	62.5%	
	悩んでいる	47.5%	17.2%	24.5%	61.3%	12.1%	27.4%	38.3%	35.4%	33.2%	15.7%	33.2%	33.7%	30.3%	37.5%	
清泉大学全体 (N=508)	悩んでいない	56.7%	82.3%	78.3%	41.5%	88.2%	75.2%	64.8%	66.5%	67.9%	84.4%	67.9%	68.9%	71.3%	66.5%	
	悩んでいる	43.3%	17.7%	21.7%	58.5%	11.8%	24.8%	35.2%	33.5%	32.1%	15.6%	32.1%	31.1%	29.7%	30.0%	

6. Q6 悩みや問題にぶつかった時、主に相談する先 について問う項目

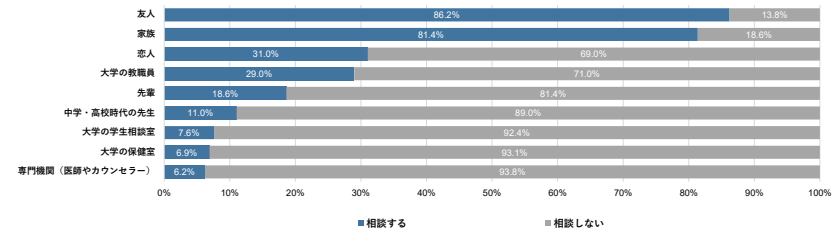
心理コミュニケーション学科



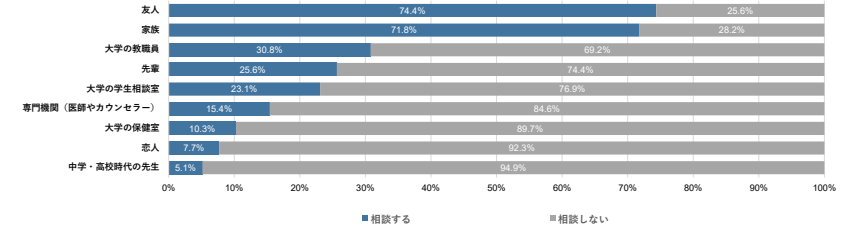
情報コミュニケーション学科



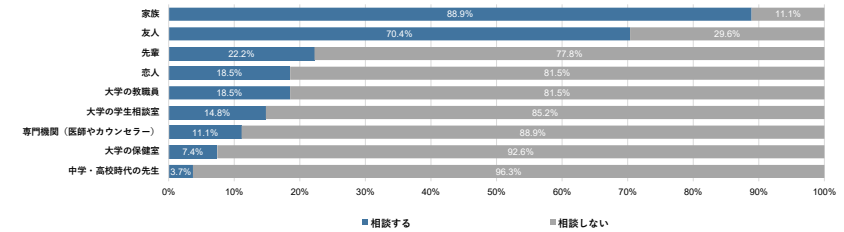
看護学科



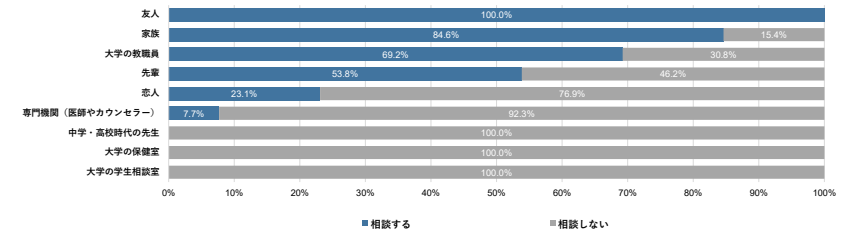
文化学科



文化芸術学科

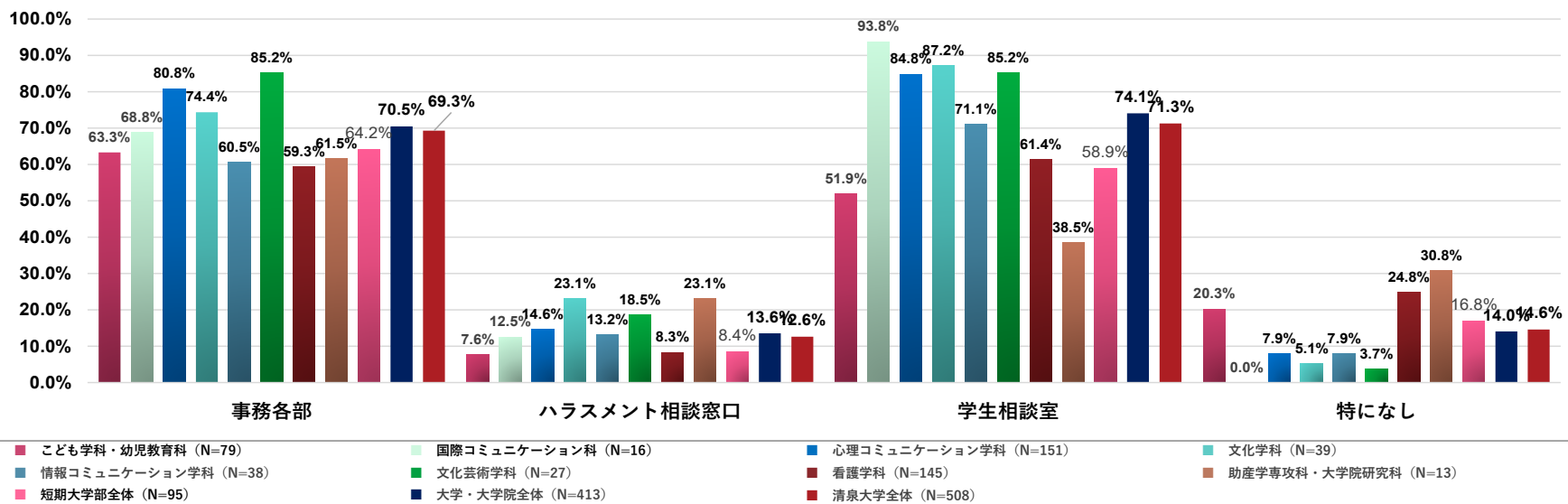


助産学専攻科・大学院看護学研究科



			家族	友人	恋人	先輩	中学・高校時代の先生	大学の教職員	大学の保健室	大学の学生相談室	専門機関 (医師やカウンセラー)
短期大学部	子ども学科・幼児教育科 (N=79)	相談しない	13.9%	13.9%	69.6%	72.2%	82.3%	58.2%	92.4%	88.6%	91.1%
		相談する	86.1%	86.1%	30.4%	27.8%	17.7%	41.8%	7.6%	11.4%	8.9%
短期大学部	国際コミュニケーション科 (N=16)	相談しない	18.8%	25.0%	75.0%	87.5%	100.0%	81.3%	93.8%	93.8%	87.5%
		相談する	81.3%	75.0%	25.0%	12.5%	0.0%	18.8%	6.3%	6.3%	12.5%
大学	心理コミュニケーション学科 (N=151)	相談しない	19.2%	25.2%	74.2%	86.1%	90.7%	58.9%	87.4%	76.2%	85.4%
		相談する	80.8%	74.8%	25.8%	13.9%	9.3%	41.1%	12.6%	23.8%	14.6%
	文化学科 (N=39)	相談しない	28.2%	25.6%	92.3%	74.4%	94.9%	69.2%	89.7%	76.9%	84.6%
		相談する	71.8%	74.4%	7.7%	25.6%	5.1%	30.8%	10.3%	23.1%	15.4%
	情報コミュニケーション学科 (N=38)	相談しない	28.9%	21.1%	71.1%	84.2%	97.4%	71.1%	89.5%	92.1%	94.7%
		相談する	71.1%	78.9%	28.9%	15.8%	2.6%	28.9%	10.5%	7.9%	5.3%
	文化芸術学科 (N=27)	相談しない	11.1%	29.6%	81.5%	77.8%	96.3%	81.5%	92.6%	85.2%	88.9%
		相談する	88.9%	70.4%	18.5%	22.2%	3.7%	18.5%	7.4%	14.8%	11.1%
看護学科 (N=145)	相談しない	18.6%	13.8%	69.0%	81.4%	89.0%	71.0%	93.1%	92.4%	93.8%	
	相談する	81.4%	86.2%	31.0%	18.6%	11.0%	29.0%	6.9%	7.6%	6.2%	
助産学専攻科・大学院看護学研究科 (N=13)	相談しない	15.4%	0.0%	76.9%	46.2%	100.0%	30.8%	100.0%	100.0%	92.3%	
	相談する	84.6%	100.0%	23.1%	53.8%	0.0%	69.2%	0.0%	0.0%	7.7%	
短期大学部全体 (N=95)	相談しない	14.7%	15.8%	70.5%	74.7%	85.3%	62.1%	92.6%	89.5%	90.5%	
	相談する	85.3%	84.2%	29.5%	25.3%	14.7%	37.9%	7.4%	10.5%	9.5%	
大学・大学院全体 (N=413)	相談しない	20.1%	20.3%	74.3%	81.4%	91.8%	65.9%	90.6%	84.7%	89.6%	
	相談する	79.9%	79.7%	25.7%	18.6%	8.2%	34.1%	9.4%	15.3%	10.4%	
清泉大学全体 (N=508)	相談しない	19.1%	19.5%	73.6%	80.1%	90.6%	65.2%	90.9%	85.6%	89.8%	
	相談する	80.9%	80.5%	26.4%	19.9%	9.4%	34.8%	9.1%	14.4%	10.2%	

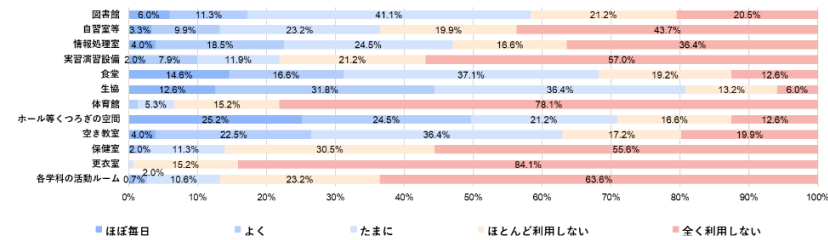
7. Q7 学内の相談窓口の認知度 について問う項目



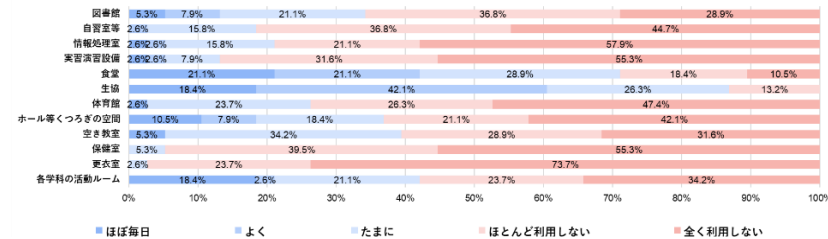
	こども学科・幼児教育科 (N=79)	国際コミュニケーション科 (N=16)	心理コミュニケーション学科 (N=151)	文化学科 (N=39)	情報コミュニケーション学科 (N=38)	文化芸術学科 (N=27)	看護学科 (N=145)	助産学専攻科・大学院研究科 (N=13)	短期大学部全体 (N=95)	大学・大学院全体 (N=413)	清泉大学全体 (N=508)
事務各部	63.3%	68.8%	80.8%	74.4%	60.5%	85.2%	59.3%	61.5%	64.2%	70.5%	69.3%
ハラスメント相談窓口	7.6%	12.5%	14.6%	23.1%	13.2%	18.5%	8.3%	23.1%	8.4%	13.6%	12.6%
学生相談室	51.9%	93.8%	84.8%	87.2%	71.1%	85.2%	61.4%	38.5%	58.9%	74.1%	71.3%
特になし	20.3%	0.0%	7.9%	5.1%	7.9%	3.7%	24.8%	30.8%	16.8%	14.0%	14.6%

8. Q8 授業時間外の施設設備の利用 について問う項目

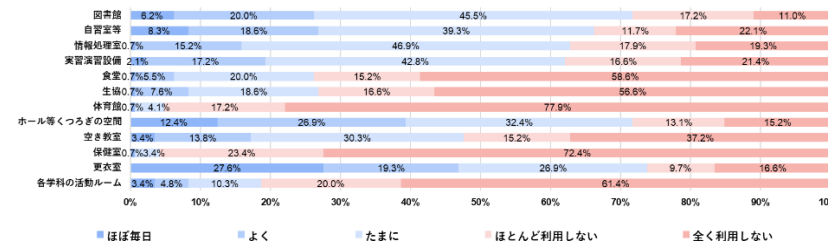
心理コミュニケーション学科



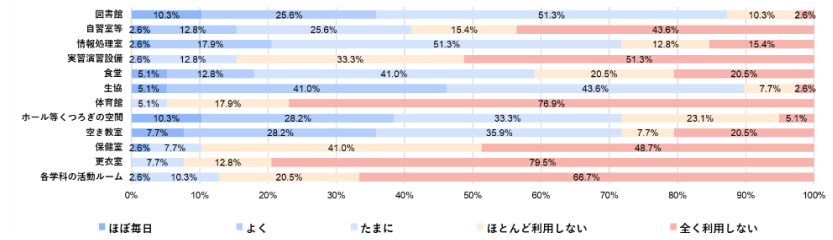
情報コミュニケーション学科



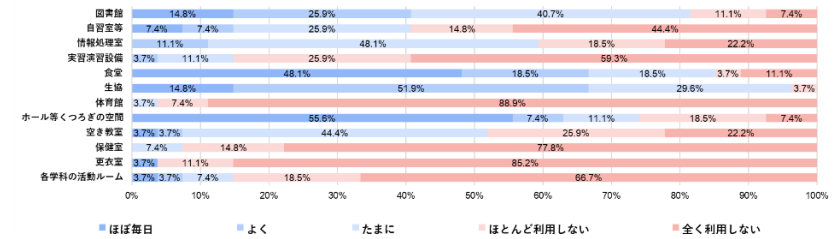
看護学科



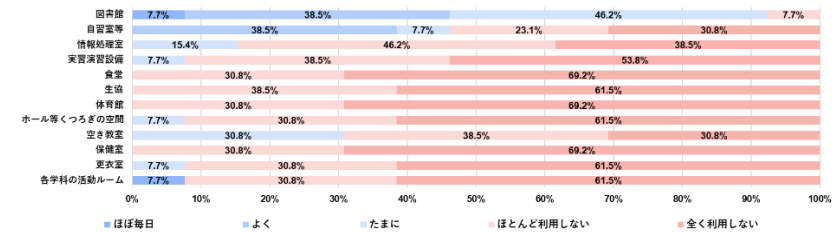
文化学科



文化芸術学科



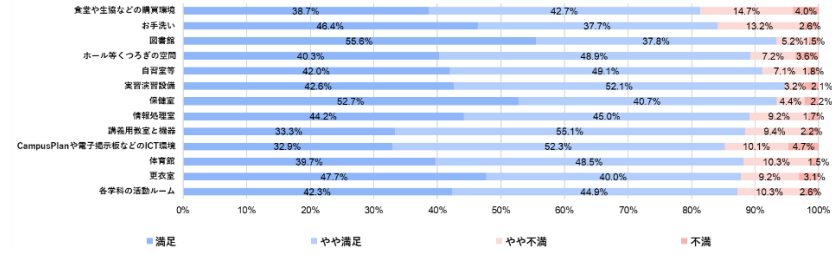
助産学専攻科・大学院看護学研究科



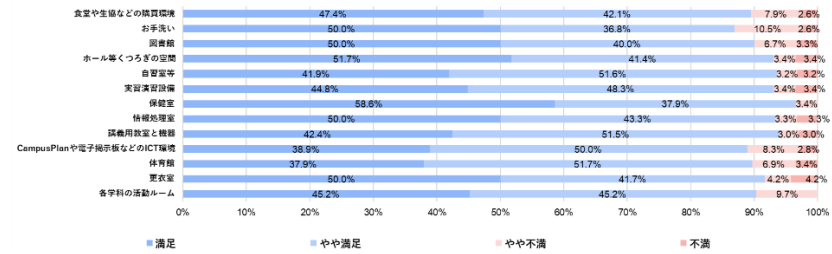
		図書館	自習室等	情報処理室	実習演習設備	食堂	生協	体育館	ホール等くつろぎの空間	空き教室	保健室	更衣室	各学科の活動ルーム(互習室、ほっとるーむ、STEAM室など)	
短期大学部	こども学・幼児教育科 (N=79)	全く利用しない	10.1%	25.3%	12.7%	10.1%	6.3%	0.0%	21.5%	20.3%	5.1%	53.2%	64.6%	35.4%
		ほとんど利用しない	11.4%	26.6%	20.3%	31.6%	13.9%	6.3%	32.9%	21.5%	13.9%	35.4%	27.8%	32.9%
		たまに	51.9%	26.6%	45.6%	34.2%	30.4%	26.6%	19.0%	24.1%	43.0%	10.1%	5.1%	19.0%
		よく	25.3%	19.0%	20.3%	20.3%	24.1%	49.4%	25.3%	19.0%	30.4%	1.3%	2.5%	10.1%
		ほぼ毎日	1.3%	2.5%	1.3%	3.8%	25.3%	17.7%	1.3%	15.2%	7.6%	0.0%	0.0%	2.5%
		全く利用しない	6.3%	25.0%	12.5%	56.3%	12.5%	6.3%	68.8%	18.8%	25.0%	62.5%	68.8%	68.8%
国際コミュニケーション科 (N=16)	ほとんど利用しない	18.8%	25.0%	12.5%	31.3%	6.3%	18.8%	31.3%	37.5%	50.0%	31.3%	31.3%	31.3%	
	たまに	25.0%	31.3%	43.8%	0.0%	50.0%	37.5%	0.0%	12.5%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	
	よく	31.3%	18.8%	31.3%	12.5%	12.5%	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	ほぼ毎日	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	全く利用しない	20.5%	43.7%	36.4%	57.0%	12.6%	6.0%	78.1%	12.6%	19.9%	55.6%	84.1%	63.6%	
	心理コミュニケーション学科 (N=151)	ほとんど利用しない	21.2%	19.9%	16.6%	21.2%	19.2%	13.2%	15.2%	16.6%	17.2%	30.5%	15.2%	23.2%
たまに		41.1%	23.2%	24.5%	11.9%	37.1%	36.4%	5.3%	21.2%	36.4%	11.3%	0.7%	10.6%	
よく		11.3%	9.0%	18.5%	7.9%	16.6%	1.3%	24.5%	22.5%	2.0%	2.0%	0.0%	2.0%	
ほぼ毎日		6.0%	3.3%	4.0%	2.0%	14.6%	12.6%	0.0%	25.2%	4.0%	0.7%	0.0%	0.7%	
全く利用しない		2.6%	43.6%	15.4%	51.3%	20.9%	2.6%	76.9%	5.1%	20.5%	48.7%	79.5%	66.7%	
文化学科 (N=39)		ほとんど利用しない	10.3%	15.4%	12.8%	33.3%	20.8%	7.7%	17.9%	23.1%	7.7%	41.0%	12.8%	20.5%
	たまに	51.3%	25.6%	51.3%	12.8%	41.0%	43.6%	5.1%	33.3%	35.9%	7.7%	10.3%	10.3%	
	よく	25.6%	12.8%	17.9%	2.6%	12.8%	41.0%	0.0%	28.2%	28.2%	0.0%	0.0%	2.6%	
	ほぼ毎日	10.3%	2.6%	2.6%	0.0%	5.1%	0.0%	10.3%	7.7%	7.7%	2.6%	0.0%	0.0%	
	全く利用しない	28.9%	44.7%	57.9%	55.3%	10.9%	0.0%	47.4%	42.1%	31.6%	55.3%	73.7%	34.2%	
	情報コミュニケーション学科 (N=38)	ほとんど利用しない	36.8%	36.8%	21.1%	31.6%	18.4%	13.2%	26.3%	21.1%	28.9%	39.5%	23.7%	23.7%
たまに		21.1%	15.8%	15.8%	7.9%	28.9%	26.3%	23.7%	18.4%	34.2%	5.3%	2.6%	21.1%	
よく		7.9%	2.6%	2.6%	21.1%	42.1%	7.9%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	
ほぼ毎日		5.3%	0.0%	2.6%	2.6%	21.1%	18.4%	2.6%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	18.4%	
全く利用しない		7.4%	44.4%	22.2%	59.3%	11.1%	0.0%	88.9%	7.4%	22.2%	77.8%	85.2%	66.7%	
文化芸術学科 (N=27)		ほとんど利用しない	11.1%	14.8%	18.5%	25.9%	3.7%	3.7%	7.4%	18.5%	25.9%	14.8%	11.1%	18.5%
	たまに	40.7%	25.9%	48.1%	11.1%	18.5%	29.6%	3.7%	11.1%	44.4%	7.4%	0.0%	7.4%	
	よく	25.9%	7.4%	11.1%	3.7%	18.5%	51.9%	0.0%	7.4%	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	
	ほぼ毎日	14.8%	7.4%	0.0%	0.0%	48.1%	14.8%	0.0%	55.6%	3.7%	0.0%	3.7%	3.7%	
	全く利用しない	11.0%	22.1%	19.3%	21.4%	58.6%	56.6%	77.9%	15.2%	37.2%	72.4%	16.6%	61.4%	
	看護学科 (N=145)	ほとんど利用しない	17.2%	11.7%	17.9%	16.6%	15.2%	16.6%	13.1%	13.1%	15.2%	23.4%	9.7%	20.0%
たまに		45.5%	39.3%	46.9%	42.8%	20.0%	18.6%	4.1%	32.4%	30.3%	3.4%	26.9%	10.3%	
よく		20.0%	18.6%	15.2%	17.2%	5.5%	7.6%	0.0%	25.9%	13.8%	0.0%	19.3%	4.8%	
ほぼ毎日		6.2%	8.3%	0.7%	2.1%	0.7%	0.7%	0.7%	12.4%	3.4%	0.7%	27.6%	3.4%	
全く利用しない		0.0%	30.8%	38.5%	53.9%	69.2%	61.5%	69.2%	61.5%	30.8%	69.2%	61.5%	61.5%	
助産学専攻科・大学院看護学研究所 (N=13)		ほとんど利用しない	7.7%	23.1%	46.2%	38.5%	30.8%	38.5%	30.8%	30.8%	38.5%	30.8%	30.8%	30.8%
	たまに	46.2%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	30.8%	0.0%	7.7%	0.0%	
	よく	38.5%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	ほぼ毎日	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	
	全く利用しない	9.5%	25.3%	12.6%	17.9%	7.4%	1.1%	29.5%	20.0%	8.4%	54.7%	65.3%	41.1%	
	清泉大学短期大学部 (N=95)	ほとんど利用しない	12.6%	26.3%	18.9%	31.6%	12.6%	8.4%	32.6%	24.2%	20.0%	34.7%	28.4%	32.6%
たまに		47.4%	27.4%	45.3%	22.4%	33.7%	28.4%	22.1%	15.8%	38.9%	9.5%	4.2%	15.8%	
よく		26.3%	18.9%	22.1%	18.9%	22.1%	46.3%	21.1%	18.9%	26.3%	1.1%	2.1%	8.4%	
ほぼ毎日		4.2%	2.1%	1.1%	3.2%	24.2%	1.1%	14.7%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	
全く利用しない		15.3%	36.0%	29.3%	43.5%	29.8%	23.0%	75.8%	15.3%	27.5%	62.5%	58.3%	60.5%	
清泉大学 (N=400)		ほとんど利用しない	19.5%	17.8%	17.3%	16.8%	13.3%	16.8%	15.5%	17.3%	16.8%	17.3%	28.8%	21.5%
	たまに	41.8%	28.8%	36.0%	22.8%	29.3%	29.3%	6.5%	25.5%	34.5%	7.3%	11.0%	11.3%	
	よく	16.5%	12.5%	15.3%	10.0%	12.8%	26.3%	0.5%	23.0%	16.5%	0.8%	7.0%	3.3%	
	ほぼ毎日	7.0%	5.0%	2.3%	1.8%	11.5%	8.3%	0.5%	19.8%	4.3%	0.8%	10.3%	3.5%	
	全く利用しない	13.8%	33.9%	26.4%	39.0%	26.6%	19.9%	66.9%	17.3%	24.0%	61.2%	59.6%	56.9%	
	清泉大学全体 (N=508)	ほとんど利用しない	17.9%	19.5%	18.3%	24.2%	16.3%	13.0%	20.1%	18.3%	18.3%	29.9%	16.7%	23.8%
たまに		42.9%	28.0%	37.2%	23.4%	29.3%	28.3%	8.1%	24.4%	35.2%	7.5%	9.6%	11.8%	
よく		18.9%	14.4%	16.1%	11.4%	14.2%	29.3%	4.3%	21.7%	17.9%	0.8%	5.9%	4.1%	
ほぼ毎日		6.5%	4.3%	2.0%	1.8%	13.8%	9.4%	0.6%	18.3%	4.5%	0.6%	8.1%	3.3%	

9. Q9 施設設備の満足度 について問う項目

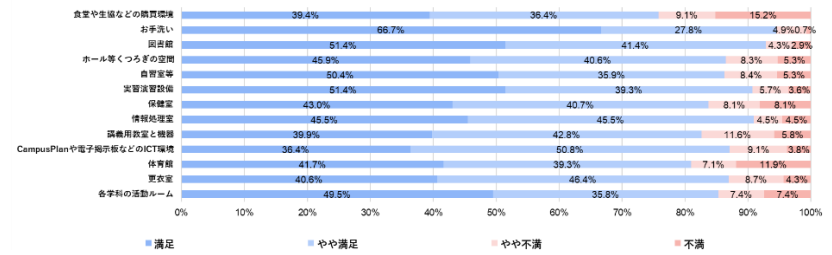
心理コミュニケーション学科



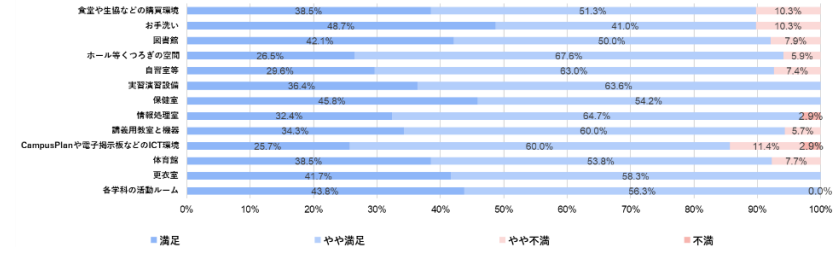
情報コミュニケーション学科



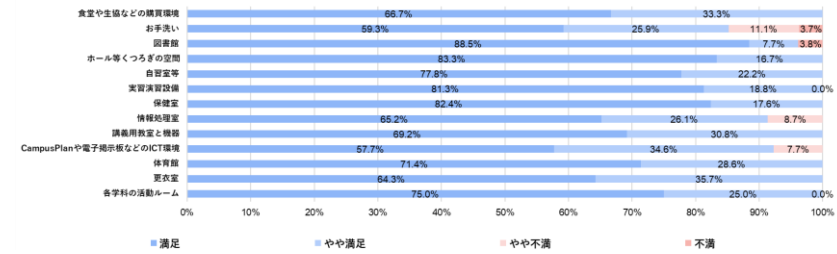
看護学科



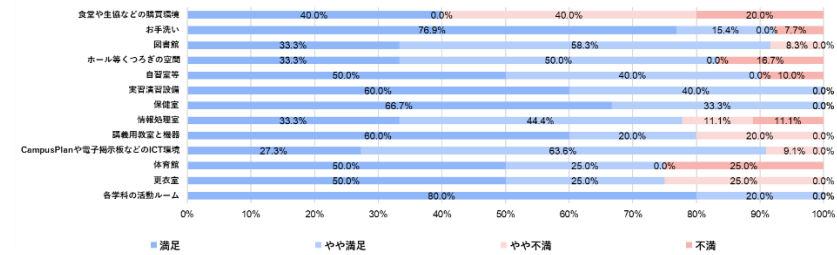
文化学科



文化芸術学科



助産学専攻科・大学院看護学研究科

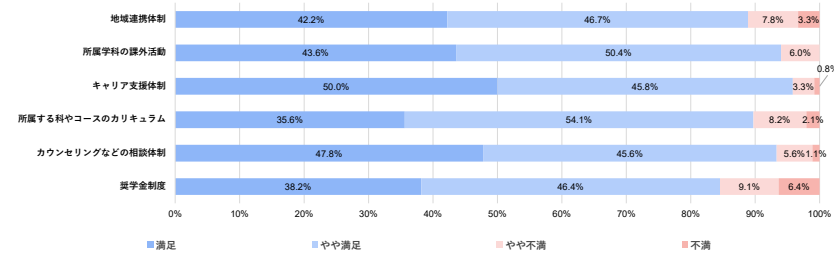


"利用しない"回答を除く4件法での分布

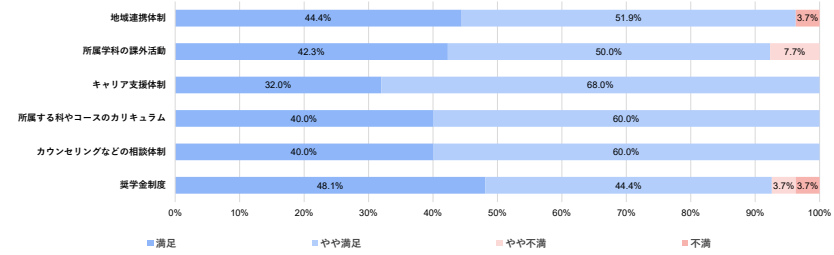
		食堂や生協などの購買 環境	お手洗い	図書館	ホール等くつろぎの空 間	自習室等	実習演習設備	保健室	情報処理室	講義用教室と機器	CampusPlanや電子指 示板などのICT環境	体育館	更衣室	各学科の活動ルーム (互習室、ほっとろー む、STEAM室など)	
短期大学部	こども学科・幼児教育科 (N=79)	不満	2.5%	1.3%	1.3%	4.0%	5.5%	0.0%	3.3%	1.3%	0.0%	3.8%	1.3%	3.6%	4.4%
		やや不満	10.1%	1.3%	2.6%	6.7%	0.0%	1.3%	4.9%	3.9%	2.6%	12.7%	6.4%	3.6%	8.8%
		やや満足	36.7%	44.3%	37.7%	48.0%	43.8%	44.7%	44.3%	42.9%	49.4%	48.1%	43.6%	43.6%	50.0%
		満足	50.6%	53.2%	58.4%	41.3%	50.7%	53.9%	47.5%	51.9%	48.1%	35.4%	48.7%	49.1%	36.8%
国際コミュニケーション科 (N=16)	不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	やや不満	25.0%	6.3%	12.5%	14.3%	7.7%	10.0%	10.0%	0.0%	7.1%	18.8%	11.1%	11.1%	11.1%	
	やや満足	31.3%	56.3%	43.8%	50.0%	46.2%	50.0%	40.0%	56.3%	57.1%	56.3%	55.6%	55.6%	55.6%	
	満足	43.8%	37.5%	43.8%	35.7%	46.2%	40.0%	50.0%	37.5%	35.7%	25.0%	33.3%	33.3%	33.3%	
大学	心理コミュニケーション学科 (N=151)	不満	4.0%	2.6%	1.5%	3.6%	1.8%	2.1%	2.2%	1.7%	2.2%	4.7%	1.5%	3.1%	2.6%
		やや不満	14.7%	13.2%	5.2%	7.2%	7.1%	3.2%	4.4%	9.2%	9.4%	10.3%	9.2%	10.3%	
		やや満足	42.7%	37.7%	37.8%	48.9%	49.1%	52.1%	40.7%	45.0%	55.1%	52.3%	48.3%	40.9%	44.9%
		満足	38.7%	46.4%	55.6%	40.3%	42.0%	42.6%	52.7%	44.2%	33.3%	32.3%	39.7%	47.7%	42.3%
	文化学科 (N=39)	不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
		やや不満	10.3%	10.3%	7.9%	5.9%	7.4%	0.0%	0.0%	5.7%	11.4%	7.7%	0.0%	0.0%	
		やや満足	51.3%	41.0%	50.0%	67.6%	63.0%	63.6%	54.2%	64.7%	60.0%	60.0%	53.8%	58.3%	56.3%
		満足	38.5%	48.7%	42.1%	26.5%	29.6%	36.4%	45.8%	32.4%	34.3%	28.7%	38.5%	41.7%	43.8%
	情報コミュニケーション学科 (N=38)	不満	2.6%	2.6%	3.3%	3.4%	3.2%	3.4%	0.0%	3.3%	3.0%	2.8%	3.4%	4.2%	0.0%
		やや不満	7.9%	10.5%	6.7%	3.4%	3.2%	3.4%	3.4%	3.3%	3.0%	8.3%	6.9%	4.2%	9.7%
		やや満足	42.1%	36.8%	40.0%	41.4%	51.6%	48.3%	37.9%	43.3%	51.5%	50.0%	51.7%	41.7%	45.2%
		満足	47.4%	50.0%	50.0%	51.7%	41.9%	44.8%	58.6%	50.0%	42.4%	38.9%	37.9%	50.0%	45.2%
	文化芸術学科 (N=27)	不満	0.0%	3.7%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		やや不満	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		やや満足	33.3%	25.9%	7.7%	16.7%	22.2%	18.8%	17.6%	26.1%	30.8%	34.6%	28.6%	35.7%	25.0%
		満足	66.7%	59.3%	88.5%	83.3%	77.8%	81.3%	82.4%	65.2%	69.2%	57.7%	71.4%	64.3%	75.0%
	看護学科 (N=145)	不満	15.2%	0.7%	2.9%	5.3%	5.3%	3.6%	8.1%	4.5%	5.8%	3.8%	11.9%	4.3%	7.4%
		やや不満	9.1%	4.9%	4.3%	8.3%	8.4%	5.7%	8.1%	4.5%	11.6%	9.1%	7.1%	8.7%	8.7%
		やや満足	36.4%	27.8%	41.4%	40.6%	35.9%	39.3%	40.7%	45.5%	42.8%	50.8%	39.3%	46.4%	35.8%
		満足	39.4%	66.7%	51.4%	45.9%	50.4%	51.4%	43.0%	45.5%	39.9%	36.4%	41.7%	40.6%	49.5%
助産学専攻科・大学院看護学研究科 (N=13)	不満	20.0%	7.7%	0.0%	16.7%	10.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
	やや不満	40.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	20.0%	9.1%	0.0%	25.0%		
	やや満足	0.0%	15.4%	58.3%	50.0%	40.0%	40.0%	33.3%	44.4%	20.0%	63.6%	25.0%	25.0%		
	満足	40.0%	76.9%	33.3%	33.3%	50.0%	60.0%	66.7%	33.3%	60.0%	27.3%	50.0%	50.0%		
短期大学部全体 (N=95)	不満	2.1%	1.1%	1.1%	3.4%	4.7%	0.0%	2.8%	2.2%	3.0%	1.1%	3.1%	3.9%		
	やや不満	12.6%	2.1%	4.3%	7.9%	1.2%	2.3%	5.6%	3.2%	3.3%	13.7%	6.9%	4.7%		
	やや満足	35.8%	46.3%	38.7%	48.3%	44.2%	45.3%	43.7%	45.2%	50.5%	49.5%	44.8%	45.3%		
	満足	49.5%	50.5%	55.9%	40.4%	50.0%	52.3%	47.9%	49.5%	46.2%	33.7%	47.1%	46.9%		
大学全体 (N=400)	不満	6.2%	1.8%	2.2%	3.6%	3.1%	2.7%	3.6%	2.9%	3.2%	3.7%	3.6%	3.8%		
	やや不満	10.8%	9.5%	4.9%	6.7%	6.9%	4.0%	4.9%	5.9%	8.6%	9.5%	7.7%	7.6%		
	やや満足	41.1%	33.6%	38.5%	44.8%	43.6%	44.9%	40.1%	45.7%	48.9%	51.1%	44.2%	44.3%		
	満足	41.9%	55.1%	54.5%	44.8%	46.4%	48.5%	51.4%	45.4%	39.2%	35.7%	42.3%	44.7%		
短期大学・大学全体 (N=508)	不満	5.0%	1.8%	1.9%	3.7%	3.6%	2.0%	3.4%	2.9%	2.5%	3.5%	4.7%	3.4%		
	やや不満	11.5%	7.9%	4.9%	6.8%	5.5%	3.6%	5.0%	5.4%	7.9%	10.3%	7.4%	7.2%		
	やや満足	39.5%	35.5%	39.0%	45.6%	43.6%	44.9%	40.8%	45.6%	48.6%	51.0%	44.1%	44.2%		
	満足	43.5%	54.8%	54.2%	43.8%	47.2%	49.5%	50.8%	46.0%	41.0%	35.1%	43.8%	45.2%		

10. Q10 教育体制や制度への満足度 について問う項目

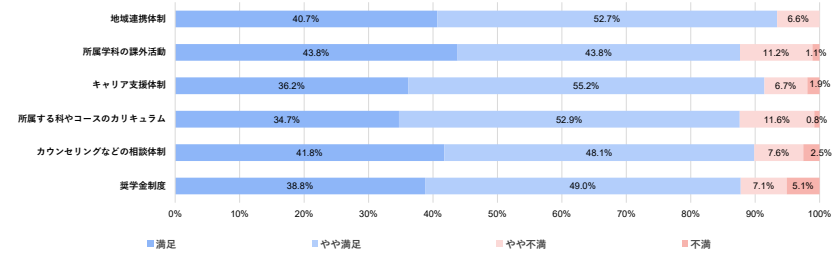
心理コミュニケーション学科



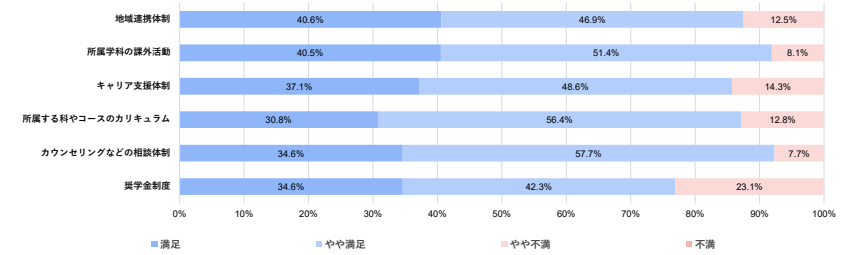
情報コミュニケーション学科



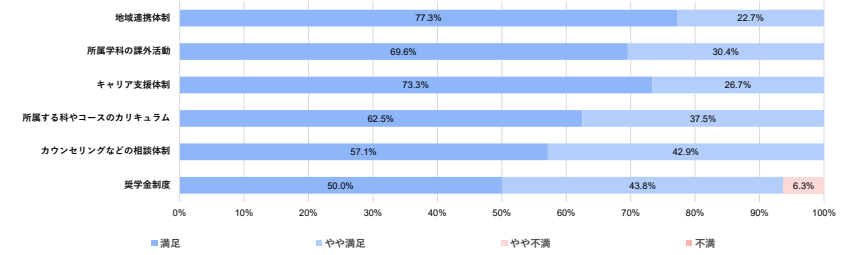
看護学科



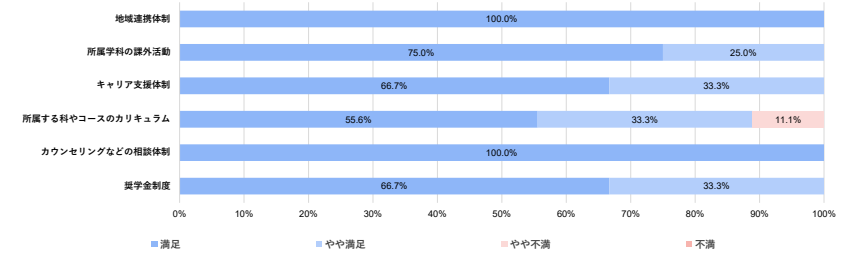
文化学科



文化芸術学科



助産学専攻科・大学院看護学研究科

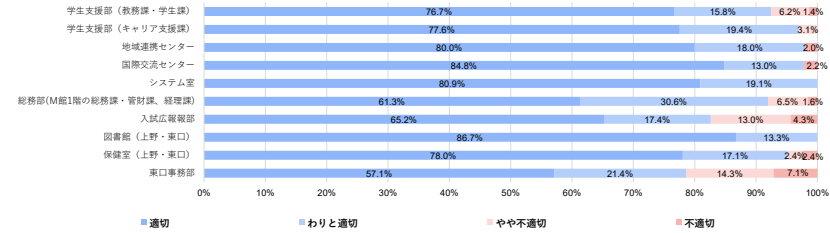


"利用しない"回答を除く4件法での分布

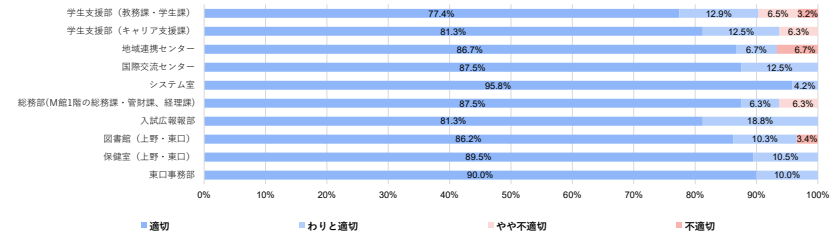
		地域連携体制	所属学科の課外活動	キャリア支援体制	所属する科やコースのカリキュラム	カウンセリングなどの相談体制	奨学金制度	
短期大学部	こども学科・幼児教育科 (N=79)	不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	
		やや不満	3.5%	4.2%	4.1%	2.0%	3.3%	
		やや満足	52.6%	50.0%	53.4%	50.0%	46.0%	50.0%
		満足	43.9%	45.8%	42.5%	45.9%	52.0%	45.0%
国際コミュニケーション科 (N=16)	不満	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	やや不満	0.0%	7.1%	6.7%	6.7%	0.0%	7.1%	
	やや満足	75.0%	71.4%	46.7%	60.0%	72.7%	64.3%	
	満足	25.0%	21.4%	40.0%	33.3%	27.3%	28.6%	
大学	心理コミュニケーション学科 (N=151)	不満	3.3%	0.0%	0.8%	2.1%	1.1%	6.4%
		やや不満	7.8%	6.0%	3.3%	8.2%	5.6%	9.1%
		やや満足	46.7%	50.4%	45.8%	54.1%	45.6%	46.4%
		満足	42.2%	43.6%	50.0%	35.6%	47.8%	38.2%
	文化学科 (N=39)	不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		やや不満	12.5%	8.1%	14.3%	12.8%	7.7%	23.1%
		やや満足	46.9%	51.4%	48.6%	56.4%	57.7%	42.3%
		満足	40.6%	40.5%	37.1%	30.8%	34.6%	34.6%
	情報コミュニケーション学科 (N=38)	不満	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
		やや不満	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
		やや満足	51.9%	50.0%	68.0%	60.0%	60.0%	44.4%
		満足	44.4%	42.3%	32.0%	40.0%	40.0%	48.1%
	文化芸術学科 (N=27)	不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		やや不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		やや満足	22.7%	30.4%	26.7%	37.5%	42.9%	43.8%
		満足	77.3%	69.6%	73.3%	62.5%	57.1%	50.0%
	看護学科 (N=145)	不満	0.0%	1.1%	1.9%	0.8%	2.5%	5.1%
		やや不満	6.6%	6.6%	11.2%	6.7%	7.6%	7.1%
		やや満足	52.7%	43.8%	55.2%	52.9%	48.1%	49.0%
		満足	40.7%	43.8%	36.2%	34.7%	41.8%	38.8%
	助産学専攻科・大学院看護学研究科 (N=13)	不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		やや不満	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
		やや満足	0.0%	25.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
		満足	100.0%	75.0%	66.7%	55.6%	100.0%	66.7%
短期大学部全体 (N=95)	不満	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	1.4%	
	やや不満	2.9%	4.7%	4.5%	4.5%	1.6%	4.1%	
	やや満足	58.5%	53.5%	52.3%	51.7%	50.8%	52.7%	
	満足	40.6%	41.9%	42.0%	43.8%	47.5%	41.9%	
大学・大学院全体 (N=413)	不満	1.5%	0.3%	1.0%	1.1%	1.3%	4.6%	
	やや不満	6.4%	7.4%	5.3%	8.6%	5.6%	8.9%	
	やや満足	47.0%	46.6%	50.2%	52.9%	48.5%	46.4%	
	満足	45.1%	45.6%	43.6%	37.4%	44.6%	40.0%	
清泉大学全体 (N=508)	不満	1.2%	0.3%	1.0%	0.9%	1.0%	4.0%	
	やや不満	5.7%	6.8%	5.1%	7.8%	4.8%	7.9%	
	やや満足	48.9%	48.2%	50.6%	52.7%	49.0%	47.7%	
	満足	44.1%	44.8%	43.2%	38.7%	45.2%	40.4%	

11. Q11 各部署の対応の適切さと自由記述 について問う項目

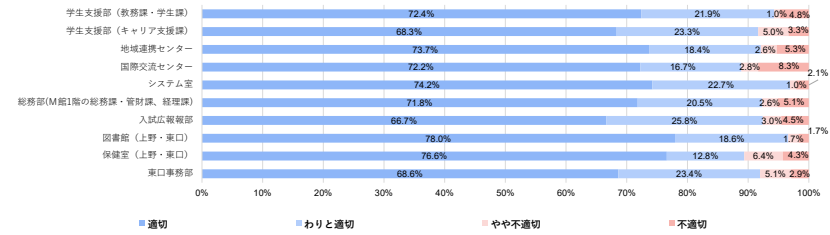
心理コミュニケーション学科



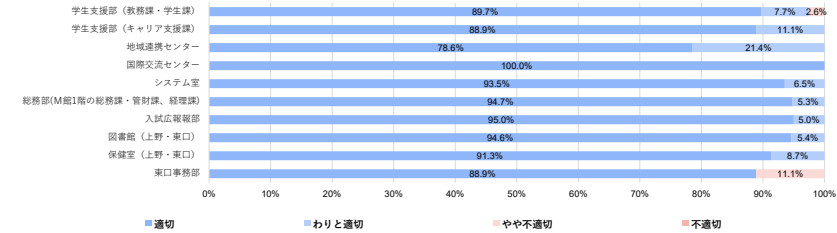
情報コミュニケーション学科



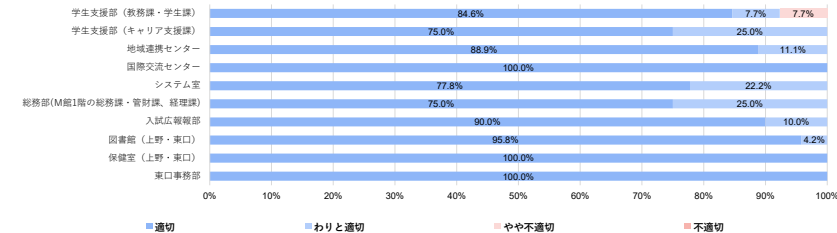
看護学科



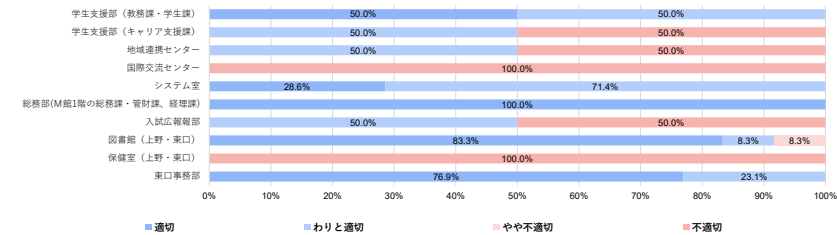
文化学科



文化芸術学科



助産学専攻科・大学院看護学研究科



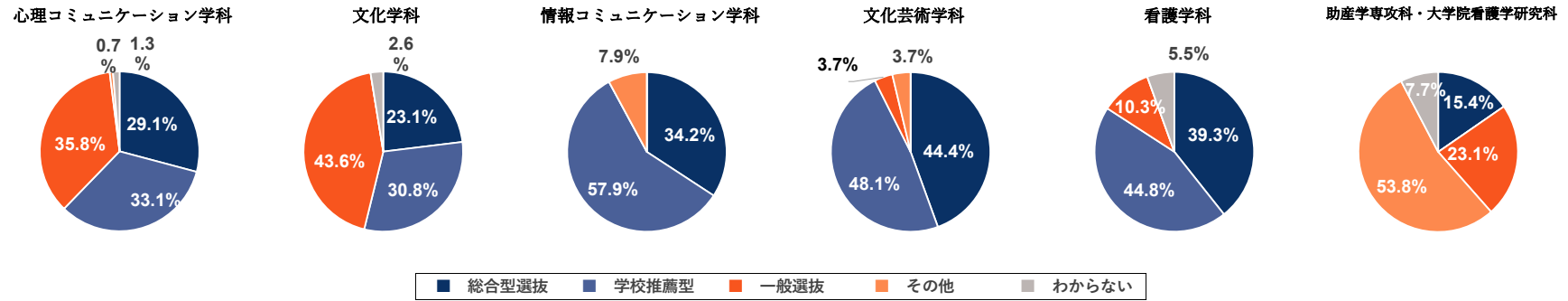
"利用しない"回答を除く4件法での分布

		学生支援部(教務課・学生課) 【履修登録、定期試験、実習関係、奨学金、生活相談等】	学生支援部(キャリア支援課) 【相談、情報提供、各種セミナー、ガイダンス等】	地域連携センター 【ボランティア等】	国際交流センター 【国際交流等】	システム室 【コンピュータ関係】	総務部(M館1階の総務課・管財課、経理課) 【備品借用、集金等】	入試広報部 【オープンキャンパス手伝い・大学案内作成等】	図書館(上野・東口)	保健室(上野・東口)	東口事務部	
短期大学部	こども学科・幼児教育科 (N=79)	不適切	8.3%	1.6%	3.6%	6.3%	1.9%	2.8%	2.6%	1.4%	2.9%	5.9%
		やや不適切	11.1%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%	1.4%	5.7%	0.0%
		わりと適切	22.2%	17.5%	14.3%	18.8%	14.8%	16.7%	17.9%	10.1%	11.4%	17.6%
	国際コミュニケーション科 (N=16)	適切	58.3%	76.2%	82.1%	75.0%	83.3%	80.6%	74.4%	87.0%	80.0%	76.5%
		不適切	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		やや不適切	0.0%	6.7%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	6.3%	0.0%	0.0%
大学	心理コミュニケーション学科 (N=151)	わりと適切	26.7%	20.0%	28.6%	11.1%	15.4%	30.0%	33.3%	12.5%	12.5%	16.7%
		適切	66.7%	73.3%	71.4%	77.8%	84.6%	70.0%	55.6%	81.3%	87.5%	83.3%
		不適切	1.4%	0.0%	2.0%	2.2%	0.0%	0.0%	1.6%	4.3%	0.0%	2.4%
	文化学科 (N=39)	やや不適切	6.2%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	13.0%	0.0%	2.4%	14.3%
		わりと適切	15.8%	19.4%	18.0%	13.0%	19.1%	30.6%	17.4%	13.3%	17.1%	21.4%
		適切	76.7%	77.6%	80.0%	84.8%	80.9%	61.3%	65.2%	86.7%	78.0%	57.1%
	情報コミュニケーション学科 (N=38)	不適切	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		やや不適切	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
		わりと適切	7.7%	11.1%	21.4%	0.0%	6.5%	5.3%	5.0%	5.4%	8.7%	0.0%
	文化芸術学科 (N=27)	適切	89.7%	88.9%	78.6%	100.0%	93.5%	94.7%	95.0%	94.6%	91.3%	88.9%
		不適切	3.2%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
		やや不適切	6.5%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	看護学科 (N=145)	わりと適切	12.9%	6.7%	12.5%	6.7%	4.2%	6.3%	18.8%	10.3%	10.5%	10.0%
		適切	77.4%	81.3%	86.7%	87.5%	95.8%	87.5%	81.3%	86.2%	89.5%	90.0%
		不適切	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	助産学専攻科・大学院看護学研究科 (N=13)	わりと適切	7.7%	25.0%	11.1%	0.0%	22.2%	25.0%	10.0%	4.2%	0.0%	0.0%
		適切	84.6%	75.0%	88.9%	100.0%	77.8%	75.0%	90.0%	95.8%	100.0%	100.0%
		不適切	4.8%	3.3%	5.3%	8.3%	2.1%	5.1%	4.5%	1.7%	4.3%	2.9%
	短期大学部全体 (N=98)	やや不適切	1.0%	5.0%	2.6%	2.8%	1.0%	2.6%	3.0%	1.7%	6.4%	5.1%
		わりと適切	21.9%	23.3%	18.4%	16.7%	22.7%	20.5%	25.8%	18.6%	12.8%	23.4%
		適切	72.4%	68.3%	73.7%	72.2%	74.2%	71.8%	66.7%	78.0%	76.6%	68.6%
	大学全体 (N=400)	不適切	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		やや不適切	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
		わりと適切	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	71.4%	0.0%	50.0%	8.3%	0.0%	23.1%
短期大学・大学全体 (N=508)	適切	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	100.0%	0.0%	83.3%	0.0%	76.9%	
	不適切	8.0%	1.3%	2.9%	4.0%	1.5%	2.2%	2.1%	1.2%	2.3%	4.3%	
	やや不適切	9.2%	5.1%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	6.3%	2.4%	4.7%	0.0%	
短期大学	わりと適切	23.0%	17.9%	17.1%	16.0%	14.9%	19.6%	20.8%	10.6%	11.6%	17.4%	
	適切	59.8%	75.6%	80.0%	76.0%	83.6%	78.3%	70.8%	85.9%	81.4%	78.3%	
	不適切	2.3%	0.9%	3.2%	3.6%	0.7%	2.1%	3.3%	0.9%	2.2%	3.2%	
大学	やや不適切	4.3%	3.2%	0.8%	0.9%	0.4%	4.2%	6.1%	0.6%	2.8%	6.5%	
	わりと適切	15.9%	18.8%	16.7%	12.6%	17.9%	21.5%	18.8%	13.4%	13.4%	21.1%	
	適切	77.5%	77.1%	79.4%	82.9%	81.1%	72.2%	71.8%	85.1%	81.6%	69.2%	
短期大学	不適切	3.4%	1.3%	3.7%	4.4%	0.8%	2.1%	3.5%	0.9%	2.7%	3.2%	
	やや不適切	5.3%	3.7%	0.6%	1.5%	0.3%	3.1%	6.1%	1.2%	3.1%	5.4%	
	わりと適切	17.6%	18.8%	17.2%	13.1%	18.4%	20.7%	19.5%	12.7%	13.0%	20.8%	
短期大学部	適切	73.7%	76.2%	78.5%	81.0%	80.5%	74.1%	71.0%	85.2%	81.2%	70.6%	

12. Q12 性別に関する項目

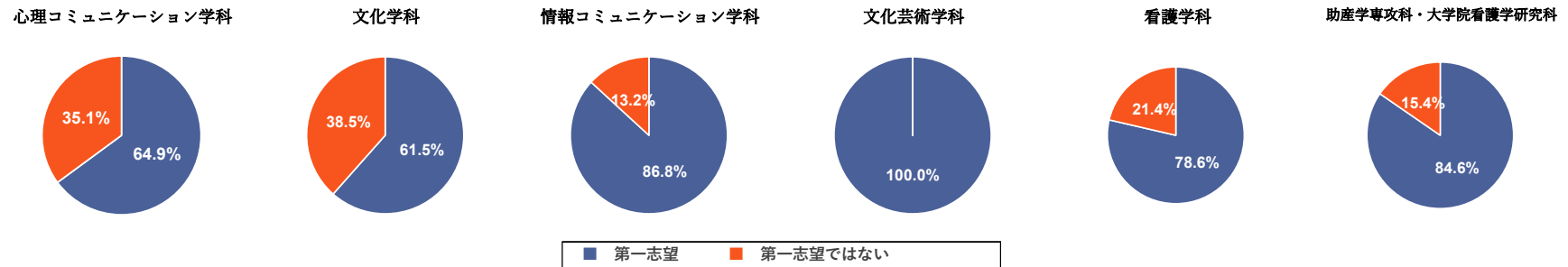
<割愛>

13. Q13 本学に入学したときの入試方法 について問う項目



	こども学科・幼児教育科 (N=79)	国際コミュニケーション科 (N=16)	心理コミュニケーション学科 (N=151)	文化学科 (N=39)	情報コミュニケーション学科 (N=38)	文化芸術学科 (N=27)	看護学科 (N=145)	助産学専攻科・大学院研究科 (N=13)	短期大学部全体 (N=95)	大学・大学院全体 (N=413)	清泉大学全体 (N=508)
総合型選抜	53.2%	56.3%	29.1%	23.1%	34.2%	44.4%	39.3%	15.4%	53.7%	33.2%	37.0%
学校推薦型	31.6%	18.8%	33.1%	30.8%	57.9%	48.1%	44.8%	0.0%	29.5%	39.2%	37.4%
一般選抜	11.4%	12.5%	35.8%	43.6%	0.0%	3.7%	10.3%	23.1%	11.6%	21.8%	19.9%
その他	1.3%	0.0%	0.7%	0.0%	7.9%	3.7%	0.0%	53.8%	1.1%	2.9%	2.6%
わからない	2.5%	12.5%	1.3%	2.6%	0.0%	0.0%	5.5%	7.7%	4.2%	2.9%	3.1%

14. Q14 本学に入学したときの志望順位 について問う項目



	こども学科・幼児教育科 (N=79)	国際コミュニケーション科 (N=16)	心理コミュニケーション学科 (N=151)	文化学科 (N=39)	情報コミュニケーション学科 (N=38)	文化芸術学科 (N=27)	看護学科 (N=145)	助産学専攻科・大学院研究科 (N=13)	短期大学部全体 (N=95)	大学・大学院全体 (N=413)	清泉大学全体 (N=508)
第1志望	81.0%	87.5%	64.9%	61.5%	86.8%	100.0%	78.6%	84.6%	82.1%	74.3%	75.8%
第1志望ではない	19.0%	12.5%	35.1%	38.5%	13.2%	0.0%	21.4%	15.4%	17.9%	25.7%	24.2%